令和６年度向け
（令和５年１２月発行）

茨城県修学生・修学生医師向け

キャリア形成プログラム
―令和６年度（2024 年度）版―

【注意事項】
〇本キャリア形成プログラムは、現状での一つのモデルです。各病院の実際の研修内容等は、修学生の個々のキャリアに合わせ決定していくことになります。
〇各病院のプログラムは現在申請中であり、今後、連携施設（病院）等の内容は変更となる可能性があります。

発行：茨城県地域医療支援センター

令和６年度（2024年度）修学生向けキャリア形成プログラム
目次

	ページ
【医師修学資金（地域枠・医師修学資金）制度について】	
「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）」及び	2
「茨城県医師修学資金貸与制度（一般修学資金）」について	
地域枠制度と医師修学資金制度の比較	3
【内科】	
筑波大学附属病院	4
水戸協同病院	5
水戸済生会総合病院	6
水戸医療センター	7
県立中央病院	9
日立総合病院	11
ひたちなか総合病院	12
土浦協同病院	13
東京医科大茨城医療センター	14
筑波記念病院	15
【小児科】	
筑波大学附属病院	16
土浦協同病院	17
県立こども病院	18
【皮膚科】	
筑波大学附属病院	19
東京医科大茨城医療センター	20
【精神科】	
筑波大学附属病院	21
県立こころの医療センター	22
栗田病院	23
【外科】	
筑波大学附属病院	24
水戸医療センター	27
県立中央病院	29
日立総合病院	35
土浦協同病院	36
筑波記念病院	37
【整形外科】	
筑波大学附属病院	38
水戸協同病院	39
土浦協同病院	40
【産婦人科】	
筑波大学附属病院	41
土浦協同病院	42

	ページ
【眼科】	
筑波大学附属病院	43
東京医科大茨城医療センター	44
【耳鼻咽喉科】	
筑波大学附属病院	45
【泌尿器科】	
筑波大学附属病院	46
【脳神経外科】	
筑波大学附属病院	47
土浦協同病院	48
【放射線科】	
筑波大学附属病院（放射線治療）	49
筑波大学附属病院（放射線診断）	50
【麻酔科】	
筑波大学附属病院	51
東京医科大茨城医療センター	52
【病理診断科】	
筑波大学附属病院	53
【救急科】	
筑波大学附属病院	54
筑波メディカルセンター病院	55
【形成外科】	
筑波大学附属病院	56
【リハビリテーション科】	
筑波大学附属病院	57
筑波記念病院	58
【総合診療】	
筑波大学附属病院	59
北茨城市民病院	61
東京医科大学茨城医療センター	62

「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）」及び「茨城県医師修学資金貸与制度（一般修学資金）」について

1　制度概要

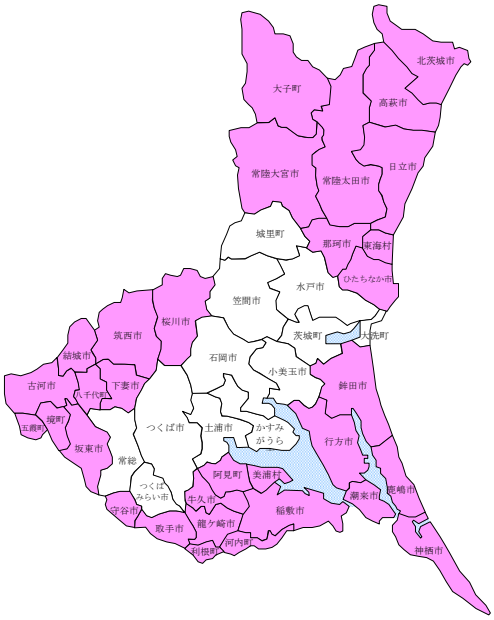
項　目	地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）		医師修学資金貸与制度（一般修学資金）
		【全国対象】	
概　要	医師不足地域の医療機関に勤務意思を有する者に地域枠設置大学にて選抜試験を実施。入学者に修学資金を貸与（地域枠入学者に貸与）		医師不足地域の医療機関に勤務意思を有する者に修学資金を貸与
貸与条件	県内高校卒業者または県内居住者の子	全国対象（筑波大学、東京医科歯科大学、順天堂大学、昭和大学、日本大学、帝京大学、獨協医科大学）の出願資格を満たす者	・県内高校卒業者または県内居住者の子 ・筑波大学医学類生（県外出身も可）
貸与額	国公立大学　月 20 万円 （年 240 万円／6 年計 1,440 万円） 私立大学　　月 25 万円 （年 300 万円／6 年計 1,800 万円）		月 15 万円 （年 180 万円／6 年計 1,080 万円）
貸与期間	正規の修学期間		正規の修学期間
返還免除	知事が指定する医療機関で 9 年間勤務（9 年のうち 1/2 以上は医師不足地域に勤務）		県内医師不足地域で貸与期間と同期間勤務（貸与期間が 3 年未満の場合は 3 年）

2　地域枠設置数（70 人）※令和 6 年 4 月現在（予定）

筑波大学 36 人（うち全国対象 10 人）、東京医科大学 8 人、東京医科歯科大学 5 人、杏林大学 2 人、日本医科大学 2 人、北里大学 2 人、帝京大学 2 人、順天堂大学 2 人、昭和大学 4 人、日本大学 3 人、獨協医科大学 2 人

3　医師不足地域（令和 6 年 4 月現在（予定））

※右図の色塗りの市町村



○ 日立二次保健医療圏
○ 常陸太田・ひたちなか二次保健医療圏
○ 鹿行二次保健医療圏
○ 筑西・下妻二次保健医療圏
○ 古河・坂東二次保健医療圏
○ 取手・竜ケ崎二次保健医療圏

（参考）医師不足地域の適用期間

○ 令和 6 年度（2024 年度）～ 令和 8 年度（2026 年度）
　※以降、３年毎に見直し予定

※R2 年度以降入学者は、臨床研修開始時点の医師不足地域が適用されます。

地域枠制度と医師修学資金制度の比較

区　　分	地域枠制度	医師修学資金制度 （一般修学資金）
１茨城県内での 従事義務	９年間	貸与期間と同期間 （３年未満の場合は３年）
従事時期	医師免許取得後 直ちに	医師免許取得後又は 大学病院（全国可）で初期研修（猶予扱い）終了後直ちに
２医師不足地域 での従事期間	県内での従事義務期間の ２分の１以上 （４年半以上）	貸与期間と同期間 （３年未満の場合は３年）
３認定専門研修		
医師不足地域外（県内）で研修する場合	－	１年 （義務期間算入）
県外で研修する場合	知事の認める期間 ※概ね３年を目安 （猶予扱い）	１年 （猶予扱い）

筑波大学附属病院　内科専門研修プログラム（地域枠、修学生）

特徴

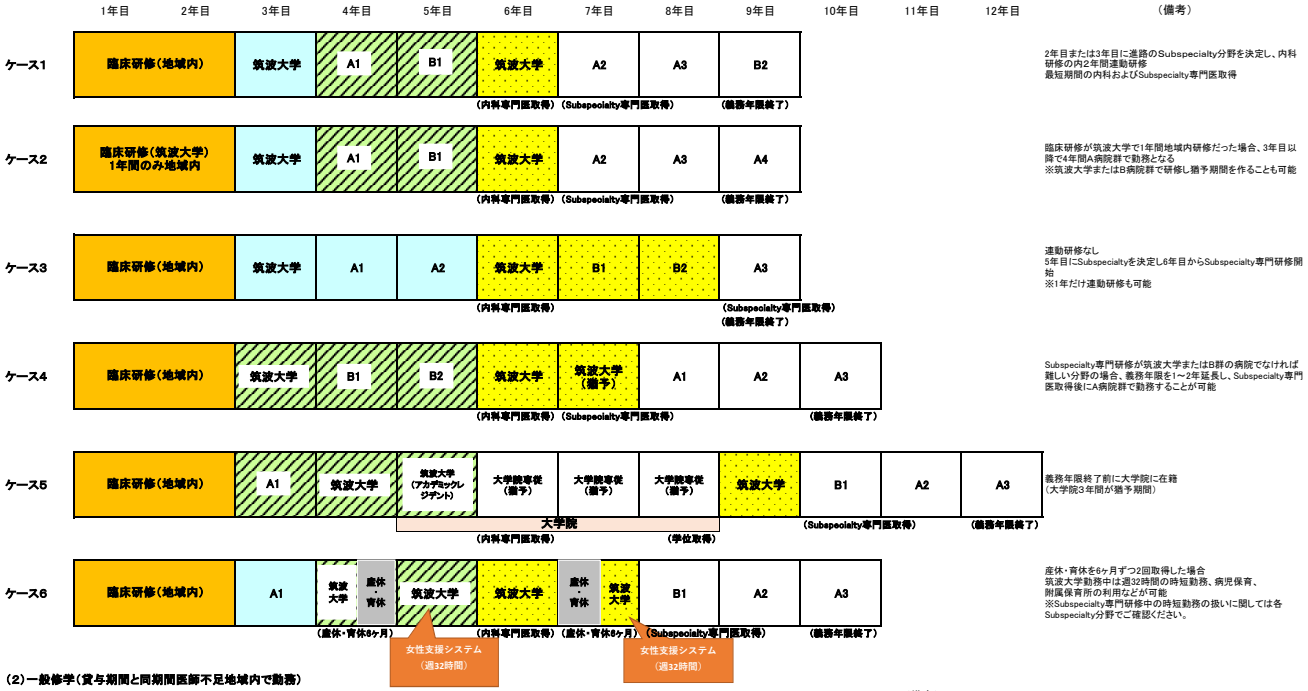
1）内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員がついて、個々に合わせた多彩なキャリアを支援します
2）10分野のSubspecialty分野のプログラム・カリキュラムの基幹施設であり、内科専門研修からSubspecialty専門研修へと一環して研修できます。また、Subspecialty専門研修修了後に至る長期的視野のもと育成します
3）最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医の取得をすることが可能であり、早期取得を目指す場合「連動研修」が可能です。
4）進路のSubspecialty分野を決めずに3年間内科を幅広く研修することも可能です（病院総合内科に所属します。）
5）専門研修を行いながら大学院進学が可能です。（大学院専従中や留学中は義務年限猶予期間となります）
6）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします。

研修ローテーション例：（あくまで例であって、個別にアレンジします）

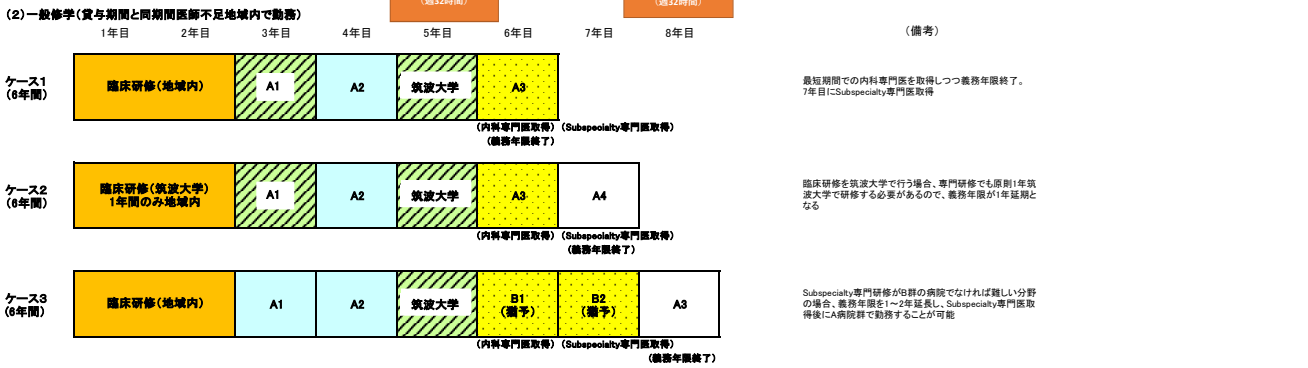
オレンジ色：　臨床研修期間
水色：　内科専門研修期間
黄色：　内科系Subspecialty専門研修期間
緑色：　内科・Subspecialty連動研修※期間

※内科・Subspecialty連動研修とは内科専門医を取得するための症例経験とSubspecialty専門医を取得するための症例経験を並行して行っていく研修でプログラムを並行に進めるものです。（詳しくは内科学会ホームページをご参照ください）
連動研修として認定される条件は各Subspecialty分野ごとに決まっております。（詳しくは各Subspecialty分野ホームページ等をご参照ください）

（1）地域枠（義務年限9年間）



（2）一般修学（貸与期間と同期間医師不足地域内で勤務）



内科専門研修研修病院群

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内医療機関）	茨城県立中央病院、茨城西南医療センター、茨城東病院、日製日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター 水戸協同病院、水戸済生会病院、友愛記念病院、神栖済生会病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター 小山記念病院、土浦協同病院なめがた地域医療センター、日鉱記念病院、常陸大宮済生会病院 取手北相馬保険医療センター医師会病院、とりで総合医療センター、龍ヶ崎済生会病院、東京医大茨城医療センター 総合守谷第一病院、茨城県立医療大学付属病院、牛久愛和病院、つくばセントラル病院
B群病院群（医師不足地域外医療機関）	筑波大学附属病院、石岡第一病院、いちはら病院、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、土浦協同病院

水戸協同病院総合診療科（総合内科・総合診療科）：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

内科専門医、総合内科専門医、総合診療専門医、病院総合医、内科サブスペシャリティ、大学院博士をとる幅広いプログラムです。

研修環境

・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です．
・研修に必要な図書室とインターネット環境があります．筑波大学附属図書館と直結したインターネット回線があり，筑波大学で契約している電子ジャーナルを共有しています．
・病院職員（常勤）として労務環境が保障されています．
・メンタルストレスおよびハラスメントに適切に対処する部署があります（茨城県厚生連内）．
・女性専攻医が安心して勤務できるように，休憩室，更衣室，仮眠室，シャワー室，当直室があります．敷地内に院内保育所があり，利用可能です．
・全国の院外研修先が選択でき、自分オリジナルなキャリア形成が可能です。
・全員に、専用の机・イス・インターネット回線（有線，Wi-Fi）があります．
・周辺は日本最高ランクのスーパー・グルメ地域

豊富な症例

専攻医 1 人あたりの受持ち患者数は，受持ち患者の重症度などを加味して，担当指導医，上級医の判断で 15 ～ 20 名程度を受持ちます．サブスペシャルティ領域に係わらず，入院患者を主担当医として退院するまで受持ちます．
・日本内科学会内科専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本病院総合診療医学会認定医が取得可能です。
・あるシニアレジデントの研修記録（6ヶ月間，入院 計159例）
糖尿病 35例、心不全 18例、腎不全 16例、肺癌 9例、胆道疾患 8例、肝硬変 7例、精神疾患 7例、狭心症 6例、肺炎 5例、尿路感染症 5例、イレウス 4例、関節リウマチ 4例、蜂窩織炎 4例、上部消化管出血 3例、間質性肺炎 3例、脳梗塞 3例、虚血性腸炎 3例、大腸癌 3例、他に髄膜炎、感染性心内膜炎、胃癌、クローン病、気管支喘息、サルコイドーシス、尿崩症、インスリノーマ、シェーグレン症候群、強皮症、副腎不全、等々

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院（総診Attending）	水戸協同病院（総診Attending）	水戸協同病院又はA3,A4,B2,C2	水戸協同病院（総診Attending）		総合内科重点コース　チーフレジデント制度あり
					内科専門医取得		病院総合診療専門医取得		（義務年限修了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院（大学院所属）	水戸協同病院（大学院所属）	A3,B2,C2	水戸協同病院（大学院所属）		筑波大学社会人博士コース（総合診療科、代謝内分泌、循環器内科）
					内科専門医取得		病院総合診療専門医取得		医学博士取得（義務年限修了）		
ケース3	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院（代謝内分泌）	水戸協同病院（代謝内分泌）	A3,B2,C2	水戸協同病院（代謝内分泌）	A4,B3,C3		サブスペシャリティコース（代謝内分泌、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科）
					内科専門医取得		内科サブスペシャリ		（義務年限修了）		
ケース4	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院（循環器内科）	水戸協同病院（代謝内分泌）	A3,B2,C2	水戸協同病院（代謝内分泌）	A4,B3,C3		サブスペシャリティコース（代謝内分泌、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科）
					内科専門医取得		内科サブスペシャリティ取得		（義務年限修了）		
ケース5	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	筑波大学（診療所研修）	筑波大学（診療所研修）	水戸協同病院又はA3,A4,B2,C2	水戸協同病院又はA3,A4,B2,C2		内科専門医+総合診療専門医+新家庭医療専門医+病院総合診療医コース
					内科専門医取得	合診療専門医取得	新家庭医療専門医取得		病院総合診療専門医取得（義務年限修了）		

（2）一般修学（義務年限6年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	C1	水戸協同病院（総合診療科）	水戸協同病院（総合診療科）			総合内科重点コース　県外研修有り
					内科専門医取得		病院総合診療専門医取得	（義務年限修了）			
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年、医師不足地域外1年）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院（代謝内分泌）	水戸協同病院（代謝内分泌）				サブスペシャリティコース（代謝内分泌、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科）
					内科専門医取得		内科サブスペシャリティ取得（義務年限修了）				
ケース3	初期研修（医師不足地域内）		水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	筑波大学（診療所研修）	筑波大学（診療所研修）				内科専門医+総合診療専門医+新家庭医療専門医コース
					内科専門医取得	合診療専門医取得	新家庭医療専門医取得（義務年限修了）				

【総合内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、日立製作所日立総合病院、西南医療センター病院、高萩協同病院、ひたちなか総合病院、那珂記念クリニック、東京医科大学茨城医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群（県外・海外病院）	JA北海道厚生連帯広厚生病院、八戸市民病院、都立多摩総合医療センター、虎の門病院分院、川崎幸病院、帝京大学ちば総合医療センター、国際医療福祉大成田病院、埼玉医科大学総合医療センター、獨協医科大学埼玉医療センター、獨協医科大学病院、公立陶生病院、藤田医科大学病院、岡山大学病院、島根大学医学部附属病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院、麻生飯塚病院、長崎大学病院、沖縄協同病院、中頭病院、浦添総合病院、友愛医療センター、沖縄北部病院、福島県立医科大学会津医療センター附属病院、獨協医科大学病院 、湘南鎌倉総合病院 、国際医療福祉大学成田病院、鹿児島県立大島病院

水戸済生会総合病院　内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

当院が目指す医師像は、「“疾患”ではなく、“患者さん”を総合的に診療できる能力を持つスペシャリスト（専門医）」です。このため、当院の内科専門研修プログラムは、できるだけ早い時期にサブスペシャルティ領域の専門医資格を取得できるように配慮しています。具体的には、連携施設研修を早い時期に行い、サブスペシャルティ研修を組み込む「連動研修」を基本にローテーションを調整していきます。

また消化器内科、腎臓内科、循環器内科については、当院での研修のみでサブスペシャルティ専門医の受験資格が得られます。つまり、受験資格を満たすために（＝経験症例を確保するために）施設の異動を行う煩わしさがありません。じっくりと腰を据えて、技術の取得と経験症例数の確保に専念できる環境です。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内・外）		水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院（内科専門医取得）	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院（Subspecialty専門医取得）	水戸済生会総合病院（義務年限修了）		当院で最大限に研修する場合
ケース2	初期研修（医師不足地域内・外）		水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	B1（内科専門医取得）	B2	水戸済生会総合病院（Subspecialty専門医取得）	水戸済生会総合病院（義務年限修了）	水戸済生会総合病院	大学病院での研修を含んだ場合

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）		水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院（内科専門医取得）（義務年限修了）					当院で最大限に研修する場合
ケース2	初期研修（医師不足地域内）		水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	B1又はC1（内科専門医取得）	水戸済生会総合病院（義務年限修了）				大学病院での研修を含んだ場合

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸済生会総合病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	水戸協同病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院、県立中央病院、水府病院、城南病院、ひたちなか総合病院、、茨城東病院、常陸大宮済生会病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	千葉大学医学部附属病院

水戸医療センター 内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

特徴

1）当院の内科は循環器内科(2名)・消化器内科(3名)・呼吸器内科(4名)・血液内科(5名)・神経内科(4名)の5つの編成です（指導医数）。
これらの指導医の中にはアレルギー専門医(2名)・腎臓専門医(1名)・リウマチ専門医(1名)資格保持者もいます。

2）専攻医の希望や状況について、個別に相談してそれぞれに合ったモデルコースを選択し、研修状況や希望に合わせ
随時修正できるようにします。

研修例

初期研修期間		内科専門研修期間			内科系Ｓｕｂｓｐｅｃｉａｌｔｙ専門研修期間※			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目

①標準コース

初期研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設	サブスペシャル研修		
			大学院進学		

②サブスペシャル領域直結コース

初期研修	水戸医療センター／連携施設		サブスペシャル研修		

③茨城県修学生(向け)・地域医療重視コース

初期研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設	サブスペシャル研修（筑波大プログラムなど※）

（義務年限終了）

内科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内中核病院）	茨城県立中央病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸赤十字病院 志村大宮病院、水府病院、茨城東病院、ひたちなか総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院、いわき病院

※Ｓｕｂｓｐｅｃｉａｌｔｙ専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

＊標準コース

1年次			
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器・救急 (基幹施設)	呼吸器・アレルギー(基幹施設)
2年次			
消化器 (基幹施設)	代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	腎臓 (連携施設)
3年次			
選択科① (連携施設)	選択科② (基幹・連携施設)	選択科③ (基幹・連携施設)	選択科④ (基幹・連携施設)

☆標準的な３年間で全コースをもれなくローテーションし、最終的に専攻科を決める

＊サブスペシャル領域直結コース(消化器科専攻コース)

1年次					
神経内科 (基幹施設)	血液内科 (基幹施設)	膠原病 (連携施設)	代謝内分泌 (連携施設)	腎臓 (連携施設)	循環器・救急 (基幹施設)
2年次					
呼吸器 (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	補充研修(基幹・連携施設)			
3年次					
消化器(基幹施設または大学病院を含む連携施設)					

☆１診療科が２ケ月間の短期研修の場合、規定の症例数の経験ができないことを想定し、補充期間を設ける(当院12ケ月＋α、連携施設12ケ月＋α)

＊茨城県修学生(向き)・地域医療重視コース

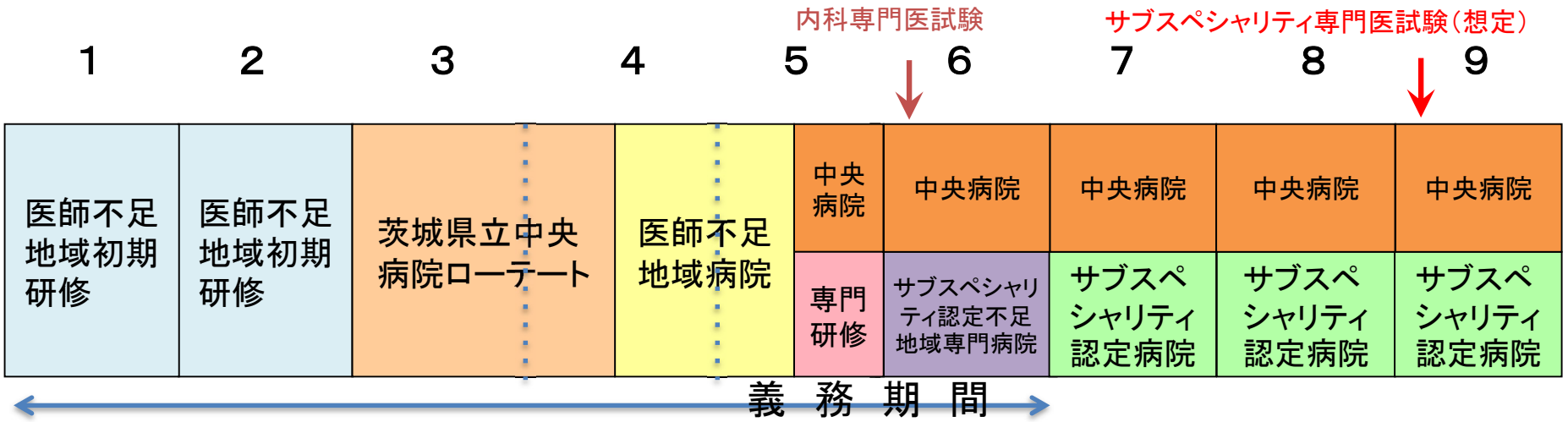
1年次					
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器・救急 (基幹施設)	呼吸器・アレルギー(基幹施設)	消化器 (基幹施設)	腎臓 (連携施設)
2年次					
代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	地域(連携施設・特別連携施設)			補充研修 (基幹・連携施設)
3年次					
地域(特別連携施設)			地域(連携施設)		

☆当院での研修が12ケ月、連携施設での研修が２４ヶ月

内科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内中核病院）	茨城県立中央病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸赤十字病院、志村大宮病院、水府病院、茨城東病院、ひたちなか総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院、いわき病院

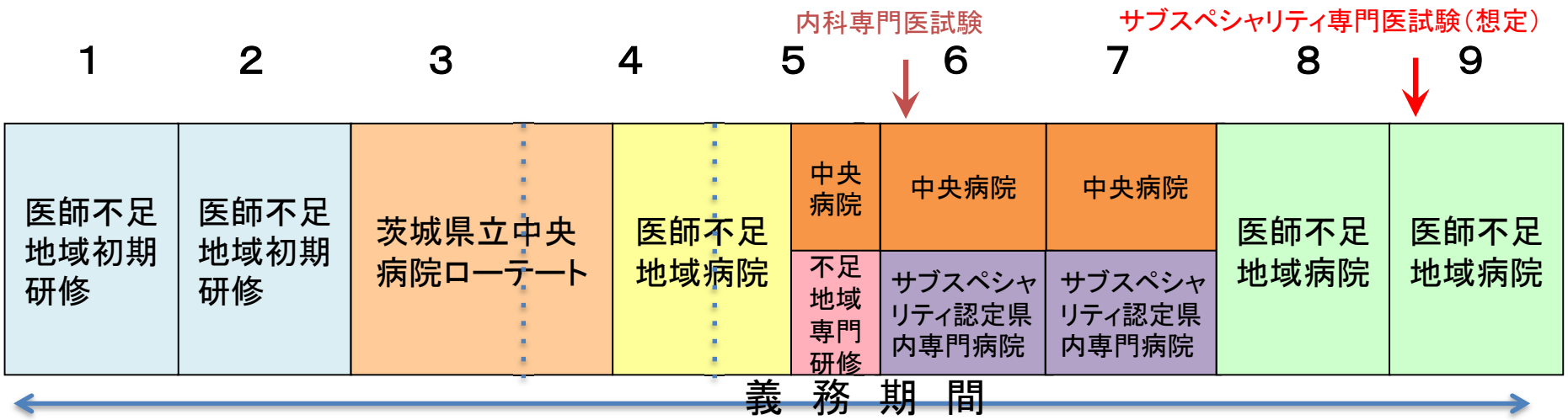
専門医キャリア形成
A－1　一般修学生



- 茨城県内医師不足地域の従事義務6年間（貸与期間6年の場合）
- 医師不足地域病院への派遣期間は1年間
- １～２年目を医師不足地域外で研修した場合，義務期間が2年間延びる
- 5年目に医師不足地域外医療機関を希望する場合は，別途調整が必要となる

茨城県医師不足地域初期研修病院	医師不足地域病院	専門研修	サブスペシャリティ認定不足地域専門病院
茨城県立中央病院、水戸赤十字病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸医療センター、日立総合病院、ひたちなか総合病院、友愛記念病院、西南医療センター	ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、常陸大宮済生会病院、小山記念病院、県西部メディカルセンター 、白十字総合病院、神栖済生会病院など	筑波大学附属病院、東京医科大学茨城医療センター、東京女子医科大学、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、石岡第一病院、常陸大宮済生会病院など	茨城県立中央病院ほか

専門医キャリア形成
A－2　地域枠医師



- 茨城県内の従事義務9年間
- 医師不足地域の従事義務4.5年以上
- 5年目に医師不足地域外医療機関を希望する場合は，別途調整となる。

茨城県医師不足地域初期研修病院	医師不足地域病院	不足地域専門研修
茨城県立中央病院、水戸赤十字病院 水戸協同病院、水戸済生会病院、 水戸医療センター、日立総合病院、 ひたちなか総合病院、友愛記念病院 西南医療センター	ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、 常陸大宮済生会病院、小山記念病院、 県西部メディカルセンター 、白十字総合病院、神栖済生会病院など	ひたちなか総合病院、 水戸協同病院、 水戸済生会病院、 常陸大宮済生会病院 など

日立総合病院内科専門研修プログラム（地域枠、修学生用資料）

特徴
1）プログラムとして、内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を揃え、1人1人に担任教員がつき、皆さんの内科専門研修を支援します
2）内科専門研修からSubspecialty専門研修まで一貫した研修ができるプログラムです。
3）subspecialtyが決まっている場合は、3年目からsubspecialty専門研修に入ることも可能です
＊初期研修中から積極的な症例登録を行うことを心がけてください。
＊連携施設での研修時期は変更可能。
＊専門医取得のために必要な場合は猶予制度を利用できる。
＊通算2年を超え医師不足地域以外で勤務する場合は医師不足地域派遣は4年間（一般修学資金制度は2年間）となる。

	初期研修期間		内科専門研修期間						内科系Subspecialty専門研修期間※							
	1年目	2年目	3年目前半	3年目後半	4年目前半	4年目後半	5年目前半	5年目後半	6年目前半	6年目後半	7年目前半	7年目後半	8年目前半	8年目後半	9年目前半	9年目後半
（1）地域枠（義務年限9年間）																
サブスペ重点研修タイプ2年型	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
日立総合病院を中心に最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医取得をめざします。							（病歴提出）		（内科専門医取得）		（サブスペ専門医取得）					（義務年限終了）
サブスペ重点研修タイプ1年型	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
日立総合病院を中心に地域医療を経験しながら内科専門医とSubspecialty専門医取得をめざします。									（病歴提出）		（内科専門医取得）		（サブスペ専門医取得）			（義務年限終了）
標準タイプ	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	日立総合病院	日立総合病院	A3	A3
特定診療科に偏らず、余裕を持って満遍なく内科研修を行います。							（病歴提出）		（内科専門医取得）						（サブスペ専門医取得）	（義務年限終了）
内科・サブスペ混合タイプ	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
4年間やや余裕を持って内科研修を組み、サブスペ研修も行う。									（病歴提出）		（内科専門医取得） （サブスペ専門医取得）					（義務年限終了）
	初期研修（地域外）		日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
初期研修を医師不足地域外で行った場合。							（病歴提出）		（内科専門医取得）		（サブスペ専門医取得）					（義務年限終了）
	1年目	2年目	3年目前半	3年目後半	4年目前半	4年目後半	5年目前半	5年目後半	6年目前半	6年目後半	7年目前半	7年目後半	8年目前半	8年目後半	9年目前半	9年目後半
（2）一般修学（義務年限6年間）																
内科標準タイプ	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設
日立総合病院を中心に最短期間で内科専門医取得をめざします							（病歴提出）		（内科専門医取得）	（義務年限終了）					（サブスペ専門医取得）	
内科・サブスペ混合タイプ	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	A2	A2	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	
Subspecialty専門研修を大病院で行うことも可能です							（病歴提出）		（内科専門医取得）	（義務年限終了）	（サブスペ専門医取得）					
ケース3	初期研修（地域外）		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	サブスペ認定施設	サブスペ認定施設	A2	A2	サブスペ認定施設	
初期研修を医師不足地域外で行った場合、義務年限は2年延長します。							（病歴提出）		（内科専門医取得）					（義務年限終了）	（サブスペ専門医取得）	

内科専門研修研修病院群

基幹病院	日立総合病院
A群病院群（医師不足地域内中核病院）	ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、日鉱記念病院、東海村立病院、東京医大茨城医療センター、水戸協同病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、土浦協同病院、東京大学附属病院、日本医科大学付属病院、多摩北部医療センター、同愛記念病院

ひたちなか総合病院内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞　自由度が高いプログラムです。地域医療に貢献できる総合的な実力を持つ内科医を養成しますが、将来の大学院、海外留学にも対応可能です

＜研修例＞ ※あくまで例であって、個別にアレンジします。

- 初期研修
- 内科専門研修
- 内科系Subspecialty専門研修
- 内科・Subspecialty連動研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	備考
ケース1	初期研修（地域内）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設 内科専門医取得	SP認定施設 Subspecialty専門医取得	SP認定施設	A/B 義務年限終了			初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合） 6年目以降は、地域内外自由
ケース2	初期研修（地域内）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B C 県外病院（猶予）	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設 内科専門医取得	SP認定施設 Subspecialty専門医取得	SP認定施設	A/B	A/B 義務年限終了		内科専門研修期間中に半年間県外病院にて県内では学べない医療をする場合
ケース3	初期研修（地域外） 内1年地域内で勤務		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設 内科専門医取得	SP認定施設（地域内） Subspecialty専門医取得	SP認定施設	A /B 義務年限終了			初期研修で1年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合） SP認定施設で1年地域内
ケース4	初期研修（地域外）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設（地域内） 内科専門医取得	SP認定施設（地域内） Subspecialty専門医取得	SP認定施設	A/B 義務年限終了			初期研修0年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合） SP認定施設で2年地域内
ケース5	初期研修（地域内）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設（筑波大学） 内科専門医取得	海外留学（猶予）	SP認定施設 Subspecialty専門医取得	SP認定施設	A/B 義務年限終了		初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合）、 海外留学1年（猶予）を想定したケース
ケース6	初期研修（地域内）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	筑波大学（アカデミックレジデント） 内科専門医取得	大学院専従（猶予） 大学院	大学院専従（猶予） Subspecialty専門医取得	SP認定施設 （学位取得）	SP認定施設（地域内）	A/B 義務年限終了	初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合）、 筑波大学大学院進学し、大学院専従2年間（猶予）を想定したケース

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（地域内）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A	ひたちなか総合／A	SP認定施設（地域内） 義務年限終了 内科専門医取得		Subspecialty専門医取得				初期研修で2年地域内、内科専門研修で3年地域内（A群病院1年）、 SP認定施設で1年間地域内
ケース2	初期研修（地域内）		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設（地域外認定専門研修） 内科専門医取得	SP認定施設（地域内0.5外0.5） Subspecialty専門医取得 義務年限終了					初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合）、 SP認定施設で1.5年地域外（そのうち1年認定専門研修義務カウント）0.5年地域内
ケース3	初期研修（地域外） 内1年地域内で勤務		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A、B	ひたちなか総合／A、B	SP認定施設（地域外認定専門研修） 内科専門医取得	SP認定施設（地域内） Subspecialty専門医取得	SP認定施設（地域内0.5外0.5） 義務年限終了				初期研修で1年地域内、内科専門研修で2.5年地域内（但しB群病院0.5年の場合）、 SP認定施設で1.5年地域外（そのうち1年認定専門研修義務カウント）1.5年地域内
ケース4	初期研修（地域外） 内1年地域内で勤務		ひたちなか総合	ひたちなか総合／A	ひたちなか総合／A	SP認定施設（地域内） 内科専門医取得	SP認定施設（県外研修、猶予） Subspecialty専門医取得	SP認定施設（地域内） 義務年限終了				初期研修で1年地域内、内科専門研修で3年地域内（但しA群病院1年）、 SP研修を県外のSP認定施設で1年（県外猶予）、地域内SP認定施設2年

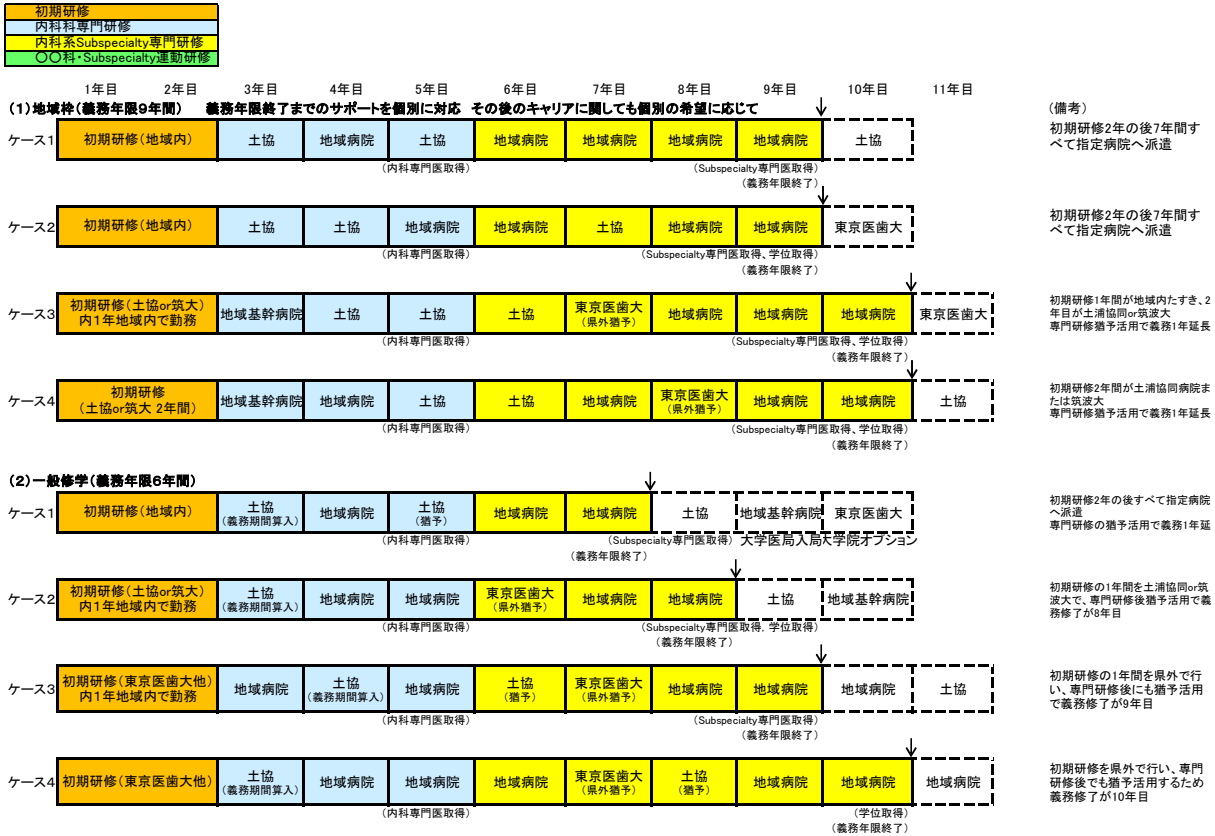
【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	ひたちなか総合病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	県立中央病院、日立総合病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院、茨城東病院、 大宮済生会病院、友愛記念病院、村立東海病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群（県外・海外病院）	諏訪中央病院、東京医科歯科大学病院、昭和大学病院、江東豊洲病院、横浜市北部病院、藤ヶ丘病院

土浦協同病院　内科専門研修プログラム（地域枠、修学生）

特徴
1）東京医科歯科大学、筑波大学と密接な関係をもち、最先端医療を含めた内科研修が可能
2）経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
3）内科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
4）希望者には東京医科歯科大学の各専門内科領域講座に入局し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能
5）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
6）内科専門医取得後、あるいはSubspecialty専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします



地域病院例は下記A群病院。今後さらに連携病院を増やしていく予定
地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能
Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日立総合病院　ひたちなか総合病院　総合病院水戸協同病院　JAとりで総合医療センター　白十字総合病院　神栖済生会病院　県北医療センター高萩協同病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	東京医科歯科大学附属病院　柏市立柏病院　秀和総合病院　武蔵野赤十字病院　草加市立病院　JCHO東京山手メディカルセンター　国立災害医療センター　東京都保健医療公社豊島病院　平塚共済病院　横浜南共済病院　横浜市立みなと赤十字病院　青梅市立総合病院　横須賀共済病院 都立大塚病院

東京医科大学茨城医療センター内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修	A群　医師不足地域内
内科専門研修	B群　医師不足地域外
内科系Subspecialty専門研修	C群　県外・海外
内科系Subspecialty連動研修	

1年目　2年目　3年目　4年目　5年目　6年目　7年目　8年目　9年目　10年目　11年目　12年目

（備考）

（1）地域枠（義務年限９年間）

ケース1
猶予なし

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
	初期研修		内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修		内科系Subspecialty専門研修						
			茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	基幹or連携	基幹or連携	基幹or連携			
	A群　医師不足地域内		A群　医師不足地域内	B群　医師不足地域外	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	B群　医師不足地域外	B群　医師不足地域外	B群　医師不足地域外			
						内科専門医取得	サブスペ専門医取得		（義務年限修了）			

当院を中心に、最短期間で内科およびsubspe専門医を取得する。

ケース2
猶予あり
3年の場合

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
	初期研修		内科専門研修			内科系Subspecialty専門研修						
			茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	基幹or連携	基幹or連携	基幹or連携	基幹or連携
	A群　医師不足地域内		A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	C群　県外・海外	C群　県外・海外	C群　県外・海外	B群　医師不足地域外	B群　医師不足地域外	B群　医師不足地域外	B群　医師不足地域外
						内科専門医取得			サブスペ専門医取得			（義務年限修了）

地域医療を経験しながら、6年目から余裕を持ってsubspe研修を行う。

ケース3
猶予なし

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
	初期研修		内科専門研修		内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修						
			茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	基幹or連携			
	B群　医師不足地域外		A群　医師不足地域内	B群　医師不足地域外	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	B群　医師不足地域外			
						内科専門医取得		サブスペ専門医取得	（義務年限修了）			

満遍なく内科研修を行い5年目に進路を決定し、6年目からsubspe研修を行う。

ケース4
猶予あり
3年の場合

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
	初期研修		内科専門研修			内科系Subspecialty専門研修						
			茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	基幹or連携	基幹or連携	基幹or連携	基幹or連携	基幹or連携
	B群　医師不足地域外		A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	C群　県外・海外	C群　県外・海外	C群　県外・海外	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	B群　医師不足地域外	B群　医師不足地域外
						内科専門医取得			サブスペ専門医取得			（義務年限修了）

県内では学べない医療を行う場合。

（2）一般修学（義務年限６年間）

ケース１
猶予なし

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
	初期研修		内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修		内科系Subspecialty専門研修	
			茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	
	A群　医師不足地域内		A群　医師不足地域内	B群　医師不足地域外	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	
						内科専門医取得	サブスペ専門医取得
						（義務年限修了）	

ケース2
猶予あり
（1年）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
	初期研修		内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修		内科系Subspecialty専門研修	
			連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	A群　医師不足地域内		B群　医師不足地域内	C群　県外・海外	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内	A群　医師不足地域内
						内科専門医取得	サブスペ専門医取得
						（義務年限修了）	

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	東京医科大学茨城医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	北茨城市民病院、茨城県立中央病院、総合病院水戸協同病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院、神栖済生会病院、牛久愛和総合病院、宮本病院（特別連携施設）、白十字総合病院（特別連携施設）
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、筑波記念病院
C群病院群（県外・海外病院）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央総合病院

筑波記念病院内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
・内科系には循環器内科（指導医4名）、消化器内科(指導医4名)、血液内科(指導医4名)、呼吸器内科(指導医１名)、神経内科(指導医2名)があり、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能が修得できる。
・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション（リハ）機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした専門研修は、高度な内科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目		（医師不足地域）
	初期研修		内科専門研修			内科系サブスペ専門研修					

地域枠（義務年限9年間）

		筑波記念病院内科専門研修プログラム（3年間）								
ケース1	初期研修（医師不足地域外1年・医師不足地域内1年）	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	A2	A3	A4	B2	4.5年間＝初期1年間＋専門1年間＋6年目以降2.5年間
				（内科専門医取得）				（義務年限修了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域外2年）	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	A2	A3	A4	A5	B2	4.5年間＝専門1年間＋6年目以降3.5年間
				（内科専門医取得）				（義務年限修了）		
ケース3	初期研修（医師不足地域内2年）	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	B2、筑波記念病院	A2	A3	B3	4.5年間＝初期2年間＋専門研修1年間＋6年目以降1.5年間
				（内科専門医取得）				（義務年限修了）		

一般修学（義務年限6年間）

		筑波記念病院内科専門研修プログラム（3年間）						
ケース1	初期研修（医師不足地域外1年・医師不足地域内1年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3	A4		6年間＝初期研修1年間＋専門研修3年間＋6年目以降2年間
				（内科専門医取得）		（義務年限修了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域外2年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3	A4	A5	6年間＝専門研修3年間＋6年目以降3年間
				（内科専門医取得）			（義務年限修了）	
ケース3	初期研修（医師不足地域内2年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3			6年間＝初期研修2年間＋専門研修3年間＋6年目以降1年間
				（内科専門医取得）	（義務年限修了）			

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	東京医科大学茨城医療センター、龍ケ崎済生会病院、きぬ医師会病院、協和中央病院、茨城東病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、土浦協同病院、筑波総合クリニック
C群病院群（県外・海外病院）	東京都立墨東病院

筑波大学附属病院 小児科専門研修プログラム（修学生医師）

＜特徴＞

1）地域枠、一般修学資金ともに、原則的に筑波大学・小児科専門医プログラムを選択します。
2）専門研修では新専門医制度基幹施設（筑波大学附属病院）の指定した連携施設または関連施設（A, B病院）で研修します。
これらの病院は全て茨城県地域医療対策協議会で策定された周産期医療体制を構成する施設およびその後方支援施設です。
3）NICU（新生児集中治療室）は、6か月間の研修とし、筑波大学あるいは茨城県立こども病院で行います。
4）専門研修の4年目（もしくは3年目）は、原則として筑波大学附属病院でチーフレジデントとして下級研修医の指導にあたる予定です。
5）希望に応じて大学院進学、留学などの期間を設けることが可能です（猶予期間）。

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
			専門研修			小児科専門医試験受験			
ケース1	筑波大　初期研修 小児科特別プログラム		筑波大学	筑大 NICU	A1	A2	筑波大学	A3	A4	A5 （義務年限修了）
ケース2	筑波大学（or 医師不足地域外） 初期研修プログラム		筑波大学	筑大 NICU	A1	A2	筑波大学	A3	A4	A5 （義務年限修了）
ケース3	初期研修 （医師不足地域）		筑波大学	筑大 NICU	B1	B2	筑波大学	A1	A2	A3 （義務年限修了）

（2）一般修学（義務年限6年間）

		専門研修			小児科専門医試験受験	
ケース1	初期研修 （医師不足地域）	筑波大学 （認定専門研修）	A1	A2	A3 （義務年限修了）	

【小児科専門研修研修病院群】

A病院（医師不足地域病院）：茨城県立こども病院、茨城西南医療センター病院、茨城県西部メディカルセンター、日立総合病院、ひたちなか総合病院、茨城福祉医療センター、総合守谷第一病院、龍ヶ崎済生会病院
※ 7～9年目では、常陸大宮済生会病院も含まれます。

B病院（医師不足地域外病院）：筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院

【特色】高度先進医療から小児科基礎知識まですべて習得！
・筑波大学の小児科研修プログラムは4年間です：論文作成から専門医受験の年まで指導体制がしっかりとしています。
・初期研修の小児科特別プログラム（2～4枠/年）では、初期から小児科に特化した研修を行うことが可能で、あなたのキャリアを早期からサポートします。

土浦協同病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
1）東京医科歯科大学、筑波大学をはじめとした様々な連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた小児科研修が可能
2）経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
3）小児科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
4）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修
○○科・Subspecialty連動研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
（1）地域枠（義務年限9年間）											
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同	土浦協同	A	土浦協同	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）				（義務年限終了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年）		土浦協同	土浦協同	A	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）				（義務年限終了）		
ケース3	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年）		土浦協同	土浦協同	B	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同 専門研修で1年地域外のため、義務年限が1年延長
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）					（義務年限終了）	
ケース4	初期研修（土浦協同病院2年）		土浦協同	土浦協同	B	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	初期研修2年間を土浦協同病院 専門研修で1年地域外のため、義務年限が1年延長
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）					（義務年限終了）	
（2）一般修学（義務年限6年間）											
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同（義務算入）	土浦協同（猶予）	A	土浦協同（猶予）	県外病院（猶予）	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修2年の後すべて指定病院へ派遣 猶予活用で3年の義務延長あり
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）				（義務年限終了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年（猶予））		土浦協同（義務算入）	土浦協同（猶予）	A	土浦協同（猶予）	県外病院（猶予）	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	初期研修中にも猶予を活用することで義務年限が4年延長
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）					（義務年限終了）	
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年）		土浦協同（義務算入）	土浦協同（猶予）	A	医師不足地域内施設	県外病院（猶予）	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	初期研修2年間を土浦協同病院 初期・専門研修ともに猶予活用で義務年限が4年延長
	小児2ヶ月				（小児科専門医取得）					（義務年限終了）	

【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	連携施設：茨城県立こども病院、JAとりで総合医療センター 関連施設：愛正会記念茨城福祉医療センター、茨城東病院、なめがた地域医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	連携施設：筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	連携施設：東京医科歯科大学病院、草加市立病院、川口市立医療センター、練馬光が丘病院など 関連施設：はるたか会あおぞら診療所

3．注意事項
・専門研修プログラム、サブスペシャルティプログラムは東京医科歯科大学と連携している。
・初期研修・専門研修・サブスペシャルティ各段階プログラムをステップアップしていくことが可能。

茨城県立こども病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）［令和7年度まで］

＜特徴＞

・令和2年度より、水戸医療圏は医師不足地域外の扱いにはなりますが、修学生医師を優先的に派遣すべき地域に該当し、
　医師不足地域での義務履行期間に算入されます。これにより、基幹病院での勤務期間も同様に、義務履行期間に算入されます。
・小児科専門医取得後はSubspecialtyの確立を目指し、更なるステップアップのために指導・配慮します。
・すぐに臨床に活かせる、超音波検査研修に力を入れています。

＜研修例＞　あくまで例であって、個別にアレンジします。

初期研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		こども病院	こども病院 / A1	A2 / こども病院	こども病院	こども病院	こども病院	こども病院	小児科専門医を取得後、Subspecialtyとして小児循環器専門医を取得するケース
			小児科専門研修開始 →			小児科専門医取得			（義務年限修了）	
						小児循環器研修開始 →			小児循環器専門医取得	
ケース2	初期研修（県内の医師不足地域外2年）		こども病院	A1 / こども病院	B1 / こども病院	こども病院	A2 / こども病院	こども病院	こども病院	小児科専門医を取得後、Subspecialtyとして周産期（新生児）専門医を取得するケース
			小児科専門研修開始 →			小児科専門医取得			（義務年限修了）	
						新生児研修開始 →			周産期（新生児）専門医取得	

（2）一般修学資金（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）		こども病院	こども病院	A1	A2				基幹病院および医師不足地域内病院のみにて研修するケース
						小児科専門医取得（義務年限修了）				
ケース2	初期研修（医師不足地域内）		こども病院	A1	B1	こども病院				小児科専門研修中に1年間、県内の医師不足地域外病院で研修するケース
					認定専門研修（県内）	小児科専門医取得（義務年限修了）				

【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院	茨城県立こども病院※
A群病院群 （医師不足地域内病院；経過措置を含む）	連携病院：日製日立総合病院、日製ひたちなか総合病院、 茨城福祉医療センター※、水戸済生会総合病院※ 関連病院：茨城県西部メディカルセンター、茨城東病院、茨城県立中央病院※、 常陸大宮済生会病院
B群病院群 （医師不足地域外病院）	連携病院：筑波大学附属病院 関連病院：土浦協同病院

※経過措置として、医師不足地域での義務履行期間に算入

筑波大学附属病院皮膚科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
大学および連携施設で経験豊かな多数の指導医のもとで、皮膚科全般について幅広くかつ高レベルの専門研修が出来ます。
県外施設でのサブスペシャリティー研修や大学院進学も、猶予期間を利用して推奨しています。
出産・育児、介護や配偶者の勤務地など個別の状況にあわせて、研修プログラムを決定します。

＜研修例＞　※例示であり、個別にアレンジします。後期研修5年間のうち、2年間の筑波大学附属病院研修を標準としており，猶予期間を活用することがあります。

初期研修
皮膚科専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
（1）地域枠（義務年限9年間）											
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		筑波大学附属病院	B群病院①	B群病院①	A群病院①	筑波大学附属病院	A群病院②	A群病院②		
								4月1日 専門医取得	**（義務年限終了）**		
ケース2	初期研修（1年筑波大学・1年地域内）		筑波大学附属病院	A群病院①	A群病院①	筑波大学附属病院	B群病院①	A群病院②	A群病院②		
								4月1日 専門医取得	**（義務年限終了）**		
（2）一般修学（義務年限6年間）											
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		筑波大学附属病院	A群病院①	A群病院①	A群病院②	筑波大学附属病院	A群病院③			
			認定専門研修			**（義務年限終了）**	認定専門研修	4月1日 専門医取得			
ケース2	初期研修（医師不足地域内）		筑波大学附属病院	A群病院①	A群病院①	筑波大学附属病院	A群病院②	A群病院②			
			認定専門研修			認定専門研修（猶予）	**（義務年限終了）**	4月1日 専門医取得			

【皮膚科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日立製作所日立総合病院，日立製作所ひたちなか総合病院，水戸協同病院，水戸赤十字病院， 茨城県立中央病院，国立病院機構水戸医療センター，東京医科大学茨城医療センター， 牛久愛和総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	土浦協同病院
C群病院群（県外・海外病院）	国立がん研究センター中央病院，埼玉医科大学国際医療センター，がん研究会有明病院， 国立国際医療研究センター病院，虎の門病院，東京大，東京女子医大， 東京女子医大足立医療センター

オンコロジスト研修または
都市型皮膚科診療研修

東京医科大学茨城医療センター皮膚科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
皮膚科専門研修

基幹病院（医師不足地域）
A群　県外
B群　大学院（研究）

1年目　2年目　3年目　4年目　5年目　6年目　7年目　8年目　9年目　10年目　11年目　12年目　（備考）

（１）地域枠（義務年限９年間）

ケース1

初期研修	皮膚科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター		
基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）		
							皮膚科専門医取得			（義務年限修了）	

ケース2

初期研修	皮膚科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター		
基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）		
							皮膚科専門医取得			（義務年限修了）	

ケース3

初期研修	皮膚科専門研修											
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター		
医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）		
							皮膚科専門医取得		（義務年限修了）			

ケース4

初期研修	皮膚科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	東京医科大学	東京医科大学	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	
基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	B群　大学院	B群　大学院	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	
							皮膚科専門医取得				（義務年限修了）

（１）一般修学生（義務年限6年間）

ケース1

初期研修	皮膚科専門研修						
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	
基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	
						皮膚科専門医取得	
						（義務年限修了）	

ケース2

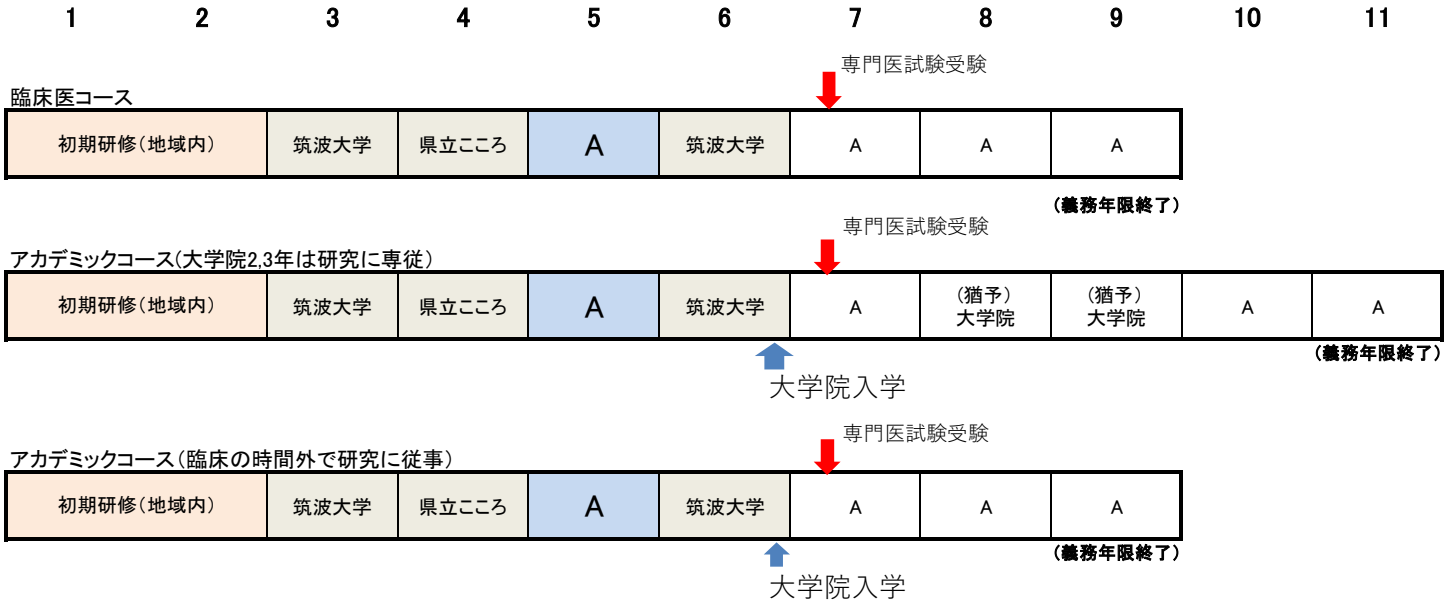
初期研修	皮膚科専門研修						
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）
					皮膚科専門医取得		（義務年限修了）

【皮膚科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群　（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、新座志木中央総合病院、戸田中央総合病院、上尾中央総合病院
B群　大学院（研究）	東京医科大学

筑波大学附属病院　精神神経科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学

A群：	大原神経科病院、鹿島病院、栗田病院、汐ケ崎病院、ホスピタル坂東

大学病院以外では、週1回、筑波大学において研究に従事する

*3～5年目の研修は、研修時期が前後する可能性がある
（例　3年目：県立こころ、4年目：筑波大）

3. 注意事項

1）地域枠医師は原則として、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することはできない。

2）一般修学生医師は6年目が猶予扱いになり、7年目で医師地域不足病院の義務を履行する。

茨城県立こころの医療センター精神科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞　① スーパー救急病棟でアクティブな精神科救急を研修できる県内唯一の施設。
② 児童思春期，依存症，睡眠医療，災害精神医学，医療観察法など複数の専門領域を有する。
③ 筑波大学や地域型認知症疾患医療センターの精神科病院と連携した研修。

＜研修例＞　※あくまで例であって，個別にアレンジします

初期研修
精神科専門研修
精神科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
初期研修（医師不足地域内）		県立こころ	県立こころ	A2,B	県立こころ	県立こころ	県立こころ	県立こころ	県立こころ		
						（精神科専門医取得）	（Subspecialty専門医取得）		（義務年限修了）		

（2）一般修学（義務年限6年間）

初期研修（医師不足地域内）	県立こころ	県立こころ	A2,B	県立こころ	県立こころ
			認定専門研修（県内）		（精神科専門医取得） （義務年限修了）

【精神科専門研修研修病院群】

基幹病院	茨城県立こころの医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	石崎病院と栗田病院のいずれかを3か月
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院3か月
C群病院群（県外・海外病院）	―

栗田病院　精神科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜研修例＞ ※あくまで例であって、個別にアレンジします ＜特徴＞

初期研修
精神科専門研修
精神科系Subspecialty専門研修

①精神科急性期治療、認知症治療、慢性期の退院支援など総合的に研修できる施設。
②将来的にクリニック開業やメンタルヘルス産業医の志向を持つ修学生にも対応。
③筑波大学やこころの医療センターと連携し、様々な病態の経験につながり、県内精神科医師と連携ができる。

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内・外）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院	栗田病院	栗田病院	栗田病院	4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
						日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得		サブスペシャリティ専門医取得 （日本認知症学会専門医など）	（義務年限修了）	
ケース2	初期研修（医師不足地域内・外）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	栗田病院 産業医	4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得		サブスペシャリティ専門医取得 （日本認知症学会専門医など）	（義務年限修了）	
ケース3	初期研修（医師不足地域内・外）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院 A1	栗田病院 A1	栗田病院 A1	栗田病院 A1	4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得		サブスペシャリティ専門医取得 （日本認知症学会専門医など）	（義務年限修了）	

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院				4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
						日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得 （義務年限修了）				
ケース2	初期研修（医師不足地域内）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院 産業医				4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得 （義務年限修了）				
ケース3	初期研修（医師不足地域内）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院 A1				4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
					産業医資格取得	日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得 （義務年限修了）				
ケース4	初期研修（医師不足地域外）		栗田病院	栗田病院 A1・B1	栗田病院 A1・A2	栗田病院 A1	栗田病院 A1	栗田病院 A1		4～5年目研修は、研修先（B1、A2）の入れ替え、5年目研修（B1、A2）の可能性あり
						日本精神神経学会専門医取得 精神保健指定医取得		（義務年限修了）		

【精神科専門研修研修病院群】

基幹病院	医療法人社団有朋会栗田病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	1. こころのクリニック水戸　、　2. 茨城県立こころの医療センター（3か月）
B群病院群（医師不足地域外病院）	1. 筑波大学附属病院（3ヶ月）
C群病院群（県外・海外病院）	―

筑波大学附属病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

「伝統校」「名門校」の称号よりも，新しい，開かれた「先端校」「先進校」の理念を選んだ筑波大学の「Imagine the future」のスローガンの元，
グローバル社会に開かれた環境で行われる「未来へのフロントランナー」としての外科医の養成を目指します。
年間12000件を超える豊富な症例数を誇る病院群を形成し、規定数をはるかに超える多くの症例の経験を提供します。
「研修医は黙ってみていろ」といった以前の権威主義的な外科教育は微塵もなく、専攻医を中心に据えた外科臨床を行っています。

＜研修例＞　<u>※あくまで例であって、個別に相談して決定します</u>

＃外科専門医資格を取得するまでの3年（または4年）の内、**1年6ヶ月は基幹病院である筑波大学附属病院外科**で研修を行う。
＃専門以外の規定症例クレジットを担保する為に、他科のローテーションを6ヶ月まで認める。
＃大学院進学は、外科専門医取得後早期と、サブスペシャリティー外科専門医取得後の2つのタイミングで選択する事が出来る。
早期に大学院に進学した場合、その後サブスペシャリティー外科専門医資格を取得する臨床研修を行う。

（1）地域枠（義務年限9年間）

基幹病院　Ba
A群病院群（医師不足地域内病院）
B群病院群（医師不足地域外病院）
C群病院群（県外・海外病院）

茨城県内（A、B　筑波大）で9年の義務　そのうち4.5年は医師不足地域（A群）で研修、県外または海外での研修期間　大学院進学時は猶予期間となる

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目		
ケース1-1	初期研修（**医師不足地域内2年**）		Ba	A(6ヵ月)	A	A	Ba	B または Ba	B または Ba	B または Ba	医師不足地域での研修を早期に終える場合
						（外科専門医取得）		（Subspecialty専門医取得）		（義務年限修了）	

	1年目	2年目	3年目	4年目	5-6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	
ケース1-2	初期研修（**医師不足地域内2年**）		A(6ヵ月)	Ba	Ba	C	A	B または Ba	A	B または Ba	B または Ba	5-6年目に猶予期間を活用し県外での研修を行う場合
						（外科専門医取得） 認定専門研修（猶予）		（Subspecialty専門医取得）			（義務年限修了）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6-9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	
ケース2-1	初期研修（**医師不足地域内1年**・医師不足地域外1年）		Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	大学院	A	B または Ba	A	B または Ba	外科専門医取得後大学院（4年）に進学する場合
							（外科専門医取得） 認定専門研修（猶予）		（Subspecialty専門医取得）		（義務年限修了）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
ケース2-2	初期研修（**医師不足地域内1年**・医師不足地域外1年）		A(6ヵ月)	Ba	A	Ba	A	B または Ba	A	B または Ba	医師不足地域と医師不足地域外での研修を交互に行う場合
							（外科専門医取得）		（Subspecialty専門医取得）	（義務年限修了）	

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
ケース3-1	初期研修（**医師不足地域外2年**）		Ba	A(6ヵ月)	Ba	A	A	A	B または Ba	A	基幹施設での研修の後　医師不足地域での研修を行う場合
						（外科専門医取得）		（Subspecialty専門医取得）		（義務年限修了）	

	1年目	2年目	3年目	4年目	5-7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	
ケース3-2	初期研修（**医師不足地域外2年**）		A(6ヵ月)	Ba	Ba	C	A	A	A	B または Ba	A	基幹施設での研修後県外等で研修を3年行う場合
					（外科専門医取得）	（Subspecialty専門医取得）					（義務年限修了）

*県外または海外での研修の場合　3年を目安に猶予期間とできる

*大学院進学の場合はその期間を猶予期間とできる

（2）一般修学（義務年限6年間）

基幹病院　Ba
A群病院群（医師不足地域内病院）
B群病院群（医師不足地域外病院）
C群病院群（県外・海外病院）

茨城県内医師不足地域（A群）での研修　6年の義務

県内医師不足地域外（B群）での研修1年は義務機関に参入可（1年以内）

県外または海外での研修期間　大学院進学時は猶予期間

最終年は6か月で義務年限終了とできる

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
ケース1-1	初期研修（**医師不足地域内2年**）		Ba	A（6ヵ月）	Ba	A （外科専門医取得）	A （Subspecialty専門医取得） （義務年限修了）				筑波大での研修1年分を義務期間に算入
ケース1-2	初期研修（**医師不足地域内2年**）		A（6ヵ月）	Ba	Ba	C （外科専門医取得） 認定専門研修（猶予）	A （Subspecialty専門医取得）	A			5年目に猶予期間を活用し県外での研修を行う場合
ケース2-1	初期研修（**医師不足地域内1年**・医師不足地域外1年）		Ba	A（6ヵ月）	Ba	A （外科専門医取得）	大学院 認定専門研修（猶予）	A	A （Subspecialty専門医取得）	A （義務年限修了）	外科専門医取得後大学院（4年）に進学する場合
ケース2-2	初期研修（**医師不足地域内1年**・医師不足地域外1年）		A（6ヵ月）	Ba	A	Ba	A （外科専門医取得）	B またはBa	A （Subspecialty専門医取得）	B またはBa	A （義務年限修了）	医師不足地域と医師不足地域外での研修を交互に行う場合
ケース3-1	初期研修（**医師不足地域外2年**）		Ba	A（6ヵ月）	Ba	A	A （外科専門医取得）	A	A （Subspecialty専門医取得）	A （義務年限修了）		基幹施設での研修の後　医師不足地域での研修を行う場合
ケース3-2	初期研修（**医師不足地域外2年**）		A（6ヵ月）	Ba	Ba	C （外科専門医取得）	A （Subspecialty専門医取得）	A	A	B またはBa	A （義務年限修了）	基幹施設での研修後県外等で研修を1年行う場合

*県外または海外での研修の場合　1年を目安に猶予期間とできる
*大学院進学の場合はその期間を猶予期間とできる
*県内医師不足地域外での研修は1年を義務期間に算入可

【消化器外科専門研修研修病院群】

基幹病院　Ba	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日製ひたちなか総合病院、日製日立総合病院、水戸協同病院、茨城県立中央病院、 国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸中央病院、 友愛記念病院、西南医療センター病院、高萩協同病院、総合守谷第一病院、 つくばセントラル病院、龍ケ崎済生会病院など
B群病院群（医師不足地域外病院）	国立霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院など
C群病院群（県外・海外病院）	国立がん研究センター東病院、聖隷佐倉市民病院、埼玉県立がんセンターなど

【心臓血管外科専門研修研修病院群】

基幹病院　Ba	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日製日立総合病院、茨城県立中央病院、国立水戸医療センター、茨城県立こども病院、 水戸済生会総合病院など
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波メディカルセンターなど
C群病院群（県外・海外病院）	東京都立小児総合医療センター、心臓病センター榊原病院、長野県立こども病院、 関西医科大学、杏林大学など

【呼吸器外科専門研修研修病院群】

基幹病院　Ba	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日製日立総合病院、茨城東病院、日製ひたちなか総合病院、茨城県立中央病院、 水戸協同病院、国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院、西南医療センター病院など
B群病院群（医師不足地域外病院）	土浦協同病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院など
C群病院群（県外・海外病院）	自治医科大学病院・がん研有明病院など

【小児外科専門研修研修病院群】

基幹病院　Ba	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	茨城県立こども病院、茨城県立中央病院、JAとりで総合医療センターなど
B群病院群（医師不足地域外病院）	土浦協同病院など
C群病院群（県外・海外病院）	埼玉県立小児医療センター、竹田綜合病院など

【乳腺甲状腺内分泌外科専門研修研修病院群】

基幹病院　Ba	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日製ひたちなか総合病院、日製日立総合病院、水戸協同病院、茨城県立中央病院、 国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、友愛記念病院、 西南医療センター病院、つくばセントラル病院など
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波学園病院、筑波メディカルセンターなど
C群病院群（県外・海外病院）	埼玉県立小児医療センター、竹田綜合病院など

水戸医療センター 外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

研修例

初期研修期間		外科専門研修期間			Ｓｕｂｓｐｅｃｉａｌｔｙ専門研修期間※			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目

①連携施設研修先行コース

初期研修	連携施設Ａ	水戸医療センター	サブスペシャル研修	

②基幹施設研修先行コース

初期研修	水戸医療センター	連携施設Ａ/C	サブスペシャル研修	

③サブ領域展開コース

初期研修	水戸医療センター	連携施設Ａ	サブスペシャル研修	

④茨城県地域特化研修コース

初期研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設Ａ	サブスペシャル研修	Ａ

（義務年限終了）

外科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院 常陸大宮済生会病院、水府病院、小山記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	-
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

※Ｓｕｂｓｐｅｃｉａｌｔｙ専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

☆Ｃ群に東北大学病院の記載がありますが、地域枠修学生は、県外での研修は義務の消化にならず、猶予扱い（その分義務が伸びる）となります。

研修モデル

①連携施設研修先行コース

１～２年次に連携施設で研修を行い、３年次以降、基幹施設で研修を行う

コース１	１年次	２年次	３年次	
	連携施設Ａ		水戸医療センター	連携施設Ａ
コース２	１年次	２年次	３年次	
	連携施設Ａ			水戸医療センター
コース３	１年次	２年次	３年次	
	連携施設Ａ		水戸医療センター	

②基幹施設研修先行コース

研修１年次に水戸医療センターでの研修を6～１２ケ月間行い、２年次以降連携施設での研修を行う

コース1	１年次	２年次	３年次	
	水戸医療センター	連携施設Ａ		
コース３	１年次	２年次	３年次	
	水戸医療センター	連携施設Ａ	連携施設Ｃ	
コース４	１年次	２年次	３年次	
	水戸医療センター	連携施設Ｃ	連携施設Ａ	

③サブ領域展開コース

研修１年次からサブスペシャリティを見据えて研修

１年次	２年次	３年次	
水戸医療センター		連携施設Ａ	水戸医療センター

④茨城県地域特化研修コース

茨城県地域医療医師修学資金貸与者は連携施設より「指定施設」を選択した研修が可能

コース１	１年次	２年次	３年次	
	連携施設Ａ		水戸医療センター	連携施設Ａ
コース２	１年次	２年次	３年次	
	連携施設Ａ			水戸医療センター
コース３	１年次	２年次	３年次	
	水戸医療センター	連携施設Ａ		

外科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院 常陸大宮済生会病院、水府病院　小山記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	-
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

1. 茨城県立中央病院　初期研修プログラム

ローテーションモデルケース

J1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科						救急分野			外科（必修）		
消化器内科		呼吸器/血液内科		循環器/腎臓内科		総合診療科 ＋ 救急科			消化器内科（血管外科含む）	麻酔科	
茨城県立中央病院（地域中核）											

J2

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
選択必修（うち2科目）			必修	自由選択（院外含む）							
小児科	産婦人科	精神科	地域医療	呼吸器/乳腺外科		循環器外科		消化器外科（血管外科含む）		整形外科	形成外科
院内あるいは院外（6ヶ月以内）連携施設											

※　初期研修として、原則内科を中心に研修

※　外科専攻希望者は、自由選択で外科系各科をローテートし、手術症例を経験することも可能

（経験症例を外科専門プログラムへ積算可）

2. 県修学生（一般枠型）

※猶予制度を使用しない場合　※外科専門研修を主眼にした場合　※義務年限3－6年を想定

S1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科（血管外科含む）			呼吸器外科/乳腺外科			循環器外科			消化器外科（血管外科含む）		
茨城県立中央病院（基幹施設）											
地域中核											

S2

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児外科（県立こども病院）			自由希望枠			院外連携施設					
小児外科		心臓血管外科	救急など不足分野あるいは領域分野			水戸協同病院あるいは日立製作所ひたちなか病院					
地域中核			地域中核あるいは地域中小			地域中核					

S3

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設						院外連携施設					
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院						常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院					
地域中小						地域中小					

☆S3 終了後、外科専門医取得予定 （要;5年以上修練施設での修練、外科学会会員）

P1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院内あるいは院外連携施設						院内あるいは院外連携施設					
地域中小あるいは地域中核						地域中小あるいは地域中核					

※院外研修・勤務施設については相談可　※義務年限終了後、領域専門医など臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

3. 県修学生（地域枠型）

☆消化器外科（領域専門医）モデルケース

S1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科（血管外科含む）			呼吸器外科/乳腺外科			循環器外科			消化器外科（血管外科含む）		
茨城県立中央病院（基幹施設）											
地域中核											

S2

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児外科（県立こども病院）			自由希望枠			院外連携施設					
小児外科		心臓血管外科	救急など不足分野あるいは領域分野			水戸協同病院あるいは日立製作所ひたちなか病院					
地域中核			地域中核			地域中核					

S3

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院											
地域中小											

☆S3 終了後、外科専門医取得予定 （要；5年以上修練施設での修練、外科学会会員）

P1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
水戸協同病院あるいは日立製作所ひたちなか病院											
地域中核											

P2

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院											
地域中小											

☆P2 終了以降、消化器外科専門医取得予定 （要;外科専門医、5年以上修練施設での修練、3年以上の会員歴）

P3

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院											
地域中小											

P4

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基幹施設											
茨城県立中央病院											
地域中核											

※院外研修・勤務施設については相談可　　※義務年限終了後、臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

4. 県修学生（地域枠型）

☆呼吸器外科（領域専門医）モデルケース

S1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科（血管外科含む）			呼吸器外科/乳腺外科			循環器外科			消化器外科（血管外科含む）		
茨城県立中央病院（基幹施設）											
地域中核											

S2

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児外科（県立こども病院）			自由希望枠			院外連携施設					
小児外科		心臓血管外科	救急など不足分野あるいは領域分野			水戸協同病院あるいは日立製作所ひたちなか病院					
地域中核			地域中核			地域中核					

S3

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院											
地域中小											

☆S3 終了後、外科専門医取得予定 （要;5年以上修練施設での修練、外科学会会員）

P1

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
水戸協同病院あるいは日立製作所ひたちなか病院											
地域中核											

P2

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院											
地域中小											

☆P2 終了以降、呼吸器外科専門医取得予定

（要；外科専門医、卒後7年以上、3年以上修練施設での修練、3年以上の会員歴（日本呼吸器学会、日本胸外学会））

P3

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設											
常陸大宮済生会病院あるいは北茨城市民病院											
地域中小											

P4

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基幹施設											
茨城県立中央病院											
地域中核											

※院外研修・勤務施設については相談可　　※義務年限終了後、臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

日立総合病院外科専門研修プログラム（地域枠、修学生用資料）

特徴

1）プログラムとして、経験豊富な指導医・専門医を揃え、1人1人に担任教員がつき、皆さんの外科専門研修を支援します。

2）救命センターもあり、幅広く様々な外科系疾患を経験できます。

（1）地域枠（義務年限9年間）

	初期研修期間		外科専門研修期間				外科系Subspecialty専門研修期間				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
			4月～9月	10月～3月							
ケース1	初期研修（地域内）		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	日立総合病院
						（外科専門医取得）				（義務年限終了）	
					4月～9月	10月～3月					
ケース2	初期研修（地域内）		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	ひたちなか総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	日立総合病院
						（外科専門医取得）				（義務年限終了）	

（2）一般修学（義務年限6年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		6年目	7年目	8年目
ケース1	初期研修（地域内）		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	日立総合病院	日立総合病院
						（外科専門医取得）	（義務年限終了）		
ケース2	初期研修（大学病院）		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	日立総合病院	医師不足地域内病院
						（外科専門医取得）			（義務年限終了）

注1 ： ひたちなか総合病院での研修は3年目または5年目とし、希望により1年間とすることも可能です。

注2 ： 外科系Subspecialty専門研修期間は、6年目以降の医師不足地域内中小病院研修機関で希望するSubspecialty専門医取得の要件となる症例有無および症例件数により、Subspecialty専門医取得年が異なります。

①消化器外科 ： 7～10年目で取得

②呼吸器外科 ： 9～10年目で取得

③乳腺外科 ： 7～10年目で取得

④心臓血管外科 ： 8～10年目で取得

注3 ： Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が提示された後、各subspecialty学会認定の医師不足地域内中小病院を追加する予定です。

土浦協同病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
1）最先端医療を含めた外科研修が可能
2）経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
3）外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
4）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
外科専門研修
外科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
（1）地域枠（義務年限9年間）											
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同病院	土浦協同病院	ひたちなか総合病院または友愛記念病院（外科専門医取得）	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院（義務年限修了）		初期研修の後すべて指定病院へ派遣
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年）		ひたちなか総合病院または友愛記念病院	ひたちなか総合病院または友愛記念病院	土浦協同病院（外科専門医取得）	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院（義務年限修了）		初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年）		ひたちなか総合病院または友愛記念病院	ひたちなか総合病院または友愛記念病院	土浦協同病院（外科専門医取得）	土浦協同病院	地域病院	地域病院	地域病院（義務年限修了）		初期研修2年間を土浦協同病院
（2）一般修学（義務年限6年間）											
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同病院（義務期間算入）	土浦協同病院（猶予）	ひたちなか総合病院または友愛記念病院（外科専門医取得）	地域病院	地域病院（義務年限修了）				初期研修の後すべて指定病院へ派遣 猶予1年活用で義務延長あり
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年（猶予））		ひたちなか総合病院または友愛記念病院	土浦協同病院（義務期間算入）	土浦協同病院（猶予）（外科専門医取得）	地域病院	地域病院	地域病院（義務年限修了）			初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同 専門研修で猶予1年活用のため義務延長あり
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年（猶予））		ひたちなか総合病院または友愛記念病院	ひたちなか総合病院または友愛記念病院	土浦協同病院（義務期間算入）（外科専門医取得）	地域病院	地域病院	地域病院（義務年限修了）			初期研修2年間を土浦協同病院のため、 猶予活用で義務延長あり

【外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、友愛記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	―
C群病院群（県外・海外病院）	東京医科歯科大学附属病院

筑波記念病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
・外科系には心臓血管外科（指導医3名）、消化器外科(指導医4名)、呼吸器外科(指導医2名))があり、標準的かつ全人的な外科的医療の実践に必要な知識と技能が修得できる。
・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション（リハ）機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした専門研修は、高度な外科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

1年目　2年目　3年目　4年目　5年目　6年目　7年目　8年目　9年目　（医師不足地域）

初期研修　外科専門研修　外科系サブスペ専門研修

地域枠（義務年限9年間）

ケース1

筑波記念病院外科専門研修プログラム（3年間）

初期研修（医師不足地域外1年・医師不足地域内1年）	筑波記念病院	筑波記念病院	A1	筑波記念病院	A2	A3	A4	筑波記念
			（外科専門医取得）				（義務年限修了）	

4.5年間＝初期1年間＋専門1年間＋6年目以降2.5年間

ケース2

筑波記念病院外科専門研修プログラム（3年間）

初期研修（医師不足地域外2年）	筑波記念病院	筑波記念病院	A1	A2	A3	A4	A5	筑波記念
			（外科専門医取得）				（義務年限修了）	

4.5年間＝専門1年間＋6年目以降3.5年間

ケース3

筑波記念病院外科専門研修プログラム（3年間）

初期研修（医師不足地域内2年）	筑波記念病院	筑波記念病院	A1	筑波記念病院	筑波記念病院	A2	A3	筑波記念
			（外科専門医取得）				（義務年限修了）	

4.5年間＝初期2年間＋専門研修1年間＋6年目以降1.5年間

一般修学（義務年限6年間）

ケース1

筑波記念病院外科専門研修プログラム（3年間）

初期研修（医師不足地域外1年・医師不足地域内1年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3	A4	
			（外科専門医取得）		（義務年限修了）	

6年間＝初期研修1年間＋専門研修3年間＋6年目以降2年間

ケース2

筑波記念病院外科専門研修プログラム（3年間）

初期研修（医師不足地域外2年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3	A4	A5
			（外科専門医取得）			（義務年限修了）

6年間＝専門研修3年間＋6年目以降3年間

ケース3

筑波記念病院外科専門研修プログラム（3年間）

初期研修（医師不足地域内2年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3		
			（外科専門医取得）	（義務年限修了）		

6年間＝初期研修2年間＋専門研修3年間＋6年目以降1年間

【外科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	小豆畑病院、川崎胃腸科肛門科病院、北茨城市民病院、東京医科大学茨城医療センター、茨城県立こども病院、白十字総合病院、鹿嶋ハート
B群病院群（医師不足地域外病院）	
C群病院群（県外・海外病院）	自治医科大学附属さいたま医療センター、東京医科大学病院

筑波大学附属病院　整形外科専門医プログラム

		1年目	2年目	3年目		4年目	5年目	6年目	7年目		8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
		初期研修医		後期研修医：筑波大学附属病院レジデント					クリニカルフェロー							
医師修学資金貸与6年	貸与期間1-3年	初期研修：A群1年半以上		筑波大学	A群	A群	B群（or C群）	B群（or C群）	←4年目終了							
	貸与期間4年	初期研修：A群1年半以上		筑波大学	A群	A群	A群	B群（or C群）	←5年目終了							
	貸与期間5年	初期研修：A群1年半以上		筑波大学	A群	A群	A群	A群	←6年目終了							
	貸与期間6年	初期研修：A群1年半以上		筑波大学	A群	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	←終了				
地域枠制度9年	初期研修：県内2年	初期研修：A群1年半以上		A群	筑波大学	A群	A群	A群（or B群）	A群	筑波大学	A群（or B群）	A群（or B群）	←終了			
	初期研修：県内1年	初期研修：A群1年		筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群（or B群）	A群（or B群）	A群（or B群）	←終了		
	初期研修：県外	初期研修県外		筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群	A群（or B群）	A群（or B群）	A群（or B群）	←終了	
	大学院希望	初期研修：県内2年		A群	筑波大学	A群	A群	A群	筑波大学	A群	大学院進学（猶予期間）			A群	A群（or B群）	←終了

↑専門医試験

↑レジデント終了

＊整形外科専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要　それ以外に、7年目に大学でのクリニカルフェロー（チーフレジデント）

＊どのケースでも、県外での研修・大学院を希望した場合は、猶予期間を設けて柔軟に対応する

＊留学を希望する場合は、大学院入学後とし、猶予期間を設けて柔軟に対応する

A群	医師不足地域内病院	ひたちなか総合病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、 西南医療センター 、高萩協同病院、県西部メディカルセンター、小山記念病院、 アントラーズスポーツクリニック、取手医師会病院、龍ケ崎済生会病院、つくばセントラル病院、 東京医大茨城医療センター、茨城県立医療大学、守谷第一病院
B群	医師不足地域外病院	筑波大学、いちはら病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、筑波学園病院、 霞ヶ浦医療センター、きぬ医師会病院
C群	県外病院	キッコーマン総合病院、松戸市立病院、船橋整形外科、公立昭和病院、新東京病院、 都立墨東病院高度救命救急センター、千葉こどもとおとなの整形外科、聖隷佐倉市民病院

水戸協同病院　整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞　二次救急病院として地域の中核病院としての目覚を持ち、地域のかかりつけ医の先生方と連携をとり、それぞれの役割のなかで総合的に医療を進めるようにしています。
外傷患者さまは救急部と連携し積極的な受け入れを行っております。また近年増加傾向にある合併症の多い患者さまに対しても、内科をはじめとした他科との連携のもと、集学的に治療に当っております。治療にあたっては、手術のみではなく、適切な保存治療も行っており、またリハビリテーション部と密接に連携することで、より高いレベルでの早期離床、早期復帰を目指しております。

整形外科的疾患のすべてを診療していますが、それぞれの専門分野の診療にも力を入れ、より高度な医療の提供に努めています。
上肢；肩関節周囲炎、変形性肘関節症、手根管症候群、関節リウマチなど
脊椎；頚椎症性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど
関節；変形性関節症、関節リウマチなど
スポーツ；疲労骨折、肩関節脱臼、野球肘、靭帯断裂、半月断裂など

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
整形外科専門研修
整形外科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		A1,筑波大学	水戸協同病院	A2	A3	B,筑波大学	A4	水戸協同病院			
			専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要						（義務年限修了）			
ケース2	初期研修（医師不足地域内）		筑波大学,A1	水戸協同病院	A2	A3	B,筑波大学	大学院進学	大学院進学	A4	水戸協同病院	
			専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要								（義務年限修了）	

（2）一般修学（義務年限6年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		A1,筑波大学	水戸協同病院	A2	水戸協同病院						
			専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要			（義務年限修了）						
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・医師不足地域外1年）		筑波大学,A1	水戸協同病院	A2	A3	水戸協同病院					
			専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要				（義務年限修了）					

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、西南医療センター、高萩協同病院、なめがた地域総合病院、県西総合病院、茨城県立医療大学
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学
C群病院群（県外・海外病院）	―

土浦協同病院 整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
1）東京医科歯科大学をはじめとした様々な連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた整形外科研修が可能
2）経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
3）整形外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
4）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
整形外科専門研修
整形外科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同病院	県外（猶予）	地域内	土浦協同病院（専門医取得）	土浦協同病院	地域内	地域内	地域内（義務年限修了）	初期研修2年の後すべて指定病院。1年猶予活用で義務期間延長あり
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年）		県外（猶予）	地域内	地域内	土浦協同（専門医取得）	土浦協同病院	地域内	地域内	地域内（義務年限修了）	初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同 1年猶予活用で義務期間延長あり
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年）		県外（猶予）	地域内	地域内	土浦協同（専門医取得）	地域内	地域内	地域内	地域内（義務年限修了）	初期研修2年間を土浦協同病院 1年猶予活用で義務期間延長あり

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）		地域内	県外（猶予）	地域内	土浦協同（義務算入）（専門医取得）	地域内（義務年限修了）				初期研修2年の後すべて指定病院。1年猶予活用で義務期間延長あり
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年（猶予））		県外（猶予）	地域内	地域内	土浦協同（義務算入）（専門医取得）	地域内	地域内（義務年限修了）			初期研修中の土浦協同と専門研修中の県外の猶予活用で義務年限が2年延長
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年）		県外（猶予）	地域内	地域内	土浦協同（義務算入）（専門医取得）	地域内	地域内	地域内（義務年限修了）		初期研修2年間の土浦協同と専門研修中の県外1年猶予活用で義務年限が3年延長

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	北水会記念病院、JAとりで総合医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	―
C群病院群（県外・海外病院）	東京医科歯科大学附属病院、がん研究会有明病院、九段坂病院、日産厚生会玉川病院、草加市立病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、新渡戸記念中野総合病院、同愛記念病院、練馬総合病院

※ 地域内病院研修中は週1回の研修を土浦協同病院で行うことが可能

筑波大学附属病院産婦人科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

1） 3年目以降の義務期間は、県の指定する周産期母子医療センター等あるいは医師不足地域内に派遣する。
2） 下記プランは一例を示したものであり、具体的な派遣先はキャリア形成の視点や政策的な優先課題を踏まえ地域医療対策協議会の審議等を経て決定される。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

- 初期研修
- 産婦人科専門研修
- 周産期専門医研修
- 婦人科腫瘍専門医研修
- 生殖医療専門医研修
- 女性医学専門医研修

7月産婦人科専門医試験　　10月周産期専門医試験

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目

（1）地域枠（義務年限９年間）

ケース１	初期研修（医師不足地域内・外）	水戸済生会病院	筑波大学*	高萩協同病院	茨城西南医療センター病院	筑波大学	水戸済生会病院	水戸済生会病院（義務年限修了）	日立総合病院	日立総合病院

7年間すべて指定病院に派遣　　*筑波学園病院における3ヶ月間の生殖医療研修を含む

ケース２	初期研修（医師不足地域内・外）	筑波大学*	茨城西南医療センター病院	日立総合病院	日立総合病院	筑波大学	茨城県立中央病院	茨城県立中央病院（義務年限修了）	小山記念病院	小山記念病院

7年間すべて指定病院に派遣　　*筑波学園病院における3ヶ月間の生殖医療研修を含む

（2）一般修学（義務年限６年間）

ケース１	初期研修（医師不足地域内）	筑波大学（認定専門研修）	水戸済生会病院	龍ケ崎済生会病院	茨城西南医療センター病院（義務年限修了）	筑波大学	筑波大学

4年間すべて指定病院に派遣

ケース２	初期研修（医師不足地域内）	筑波学園病院（猶予）	水戸済生会病院	筑波大学（認定専門研修）	龍ケ崎済生会病院	小山記念病院（義務年限修了）	筑波学園病院	筑波学園病院	筑波学園病院

5年間すべて指定病院に派遣

【産婦人科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院①	①総合周産期母子医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	高萩協同病院④、日立総合病院②、水戸済生会総合病院①、水戸赤十字病院②、茨城県立中央病院、茨城西南医療センター病院②、JAとりで総合医療センター②、龍ケ崎済生会病院、小山記念病院③、白十字総合病院	②地域周産期母子医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	土浦協同病院①、筑波学園病院③、筑波記念病院	③周産期救急医療協力病院
C群病院群（県外・海外病院）	東葛病院	④その他必要と認められる病院

土浦協同病院病院産婦人科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
1）多くの連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた産婦人科研修が可能
2）経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、多彩なキャリア形成を支援します
3）産婦人科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
4）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
産婦人科専門研修
産婦人科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同病院 （内3ヶ月、筑波学園にて生殖医療研修）	高萩協同病院	小山記念病院 （専門医取得）	土浦協同病院	JAとりで	土浦協同病院	高萩協同病院 （義務年限終了）		初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年）		土浦協同病院 （内3ヶ月、筑波学園にて生殖医療研修）	高萩協同病院	小山記念病院 （専門医取得）	土浦協同病院	JAとりで	小山記念病院	高萩協同病院 （義務年限終了）		初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年）		土浦協同病院 （内3ヶ月、筑波学園にて生殖医療研修）	高萩協同病院	小山記念病院 （専門医取得）	土浦協同病院	JAとりで	小山記念病院	高萩協同病院 （義務年限終了）		初期研修2年間を土浦協同病院で行う

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）		土浦協同病院（義務期間算入） （内3ヶ月、筑波学園にて生殖医療研修）	小山記念病院	高萩協同病院 （専門医取得）	高萩協同病院 （義務年限終了）	周産期、腫瘍　土浦協同病院 生殖　　筑波学園病院　等				初期研修2年の後4年間すべて指定病院へ派遣
ケース2	初期研修（医師不足地域内1年・土浦協同病院1年（猶予））		土浦協同病院（義務期間算入） （内3ヶ月、筑波学園にて生殖医療研修）	小山記念病院	高萩協同病院 （専門医取得）	高萩協同病院	小山記念病院 or 高萩協同病院 （義務年限終了）	周産期、腫瘍　土浦協同病院 生殖　　筑波学園病院　等			初期研修2年目が土浦協同のため、義務年限1年の延長あり
ケース3	初期研修（土浦協同病院2年）		土浦協同病院（義務期間算入） （内3ヶ月、筑波学園にて生殖医療研修）	小山記念病院	高萩協同病院 （専門医取得）	高萩協同病院	小山記念病院 or 高萩協同病院	周産期、腫瘍　土浦協同病院 生殖　　筑波学園病院　等 （義務年限終了）			初期研修2年間を土浦協同病院のため、猶予活用で義務延長あり

【産婦人科専門研修研修病院群】

基幹病院	総合病院土浦協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	県北医療センター高萩協同病院　小山記念病院　白十字総合病院　JAとりで総合医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波学園病院
C群病院群（県外・海外病院）	田園都市レディースクリニック　東京医科歯科大学附属病院

注意事項
1）3年目以降の義務期間は、県の指定する周産期母子医療センター等に派遣する（下記派遣対象医療機関参照）
2）上記のプランは一例であり、各自のキャリア形成プランに基づき政策的優先課題を踏まえた上で地域医療対策協議会周産期医療部会などと協議し派遣病院を決定する。
3）下記の病院が当プログラムで現在派遣可能な対象医療機関である。
　1.総合周産期母子医療センター　土浦協同病院
　2.地域周産期母子医療センター　JAとりで総合医療センター
　3.周産期救急医療協力病院　　筑波学園病院　小山記念病院
　4.その他必要と認められる病院　県北医療センター高萩協同病院

筑波大学附属病院眼科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
・3年目または4年目のいずれかは認定専門研修機関である筑波大学での研修となります。
・A群病院，B群病院ともに豊富な経験を持つ指導医が研修を支援します。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
眼科専門研修

（1）地域枠（義務年限９年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース１	初期研修(医師不足地域内)		筑波大学	A群病院	B群病院	筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院		
			（認定専門研修）				専門医試験受験		（義務年限終了）		
ケース２	初期研修(医師不足地域外)		筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	筑波大学	A群病院	A群病院		
			（認定専門研修）				専門医試験受験		（義務年限終了）		

（2）一般修学（義務年限６年間）

ケース１	初期研修(医師不足地域内)		筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	A群病院				
			（認定専門研修）			（義務年限終了）	専門医試験受験				
ケース２	初期研修(医師不足地域外)		筑波大学	A群病院	A群病院	A群病院	A群病院	B群病院	B群病院		
			（認定専門研修）			（義務年限終了）	専門医試験受験				

【眼科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	日立総合病院、水戸済生会総合病院、茨城西南医療センター、水戸協同病院、茨城県立中央病院、 水戸赤十字病院、水戸医療センター、県西部メディカルセンター、小山記念病院、龍ヶ崎済生会病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、筑波学園病院、土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター、筑波記念病院、 きぬ医師会病院、つくばセントラル病院、牛久愛和病院
C群病院群（県外・海外病院）	宮田眼科病院

東京医科大学茨城医療センター眼科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
眼科専門研修

基幹病院（医師不足地域）
A群（県内医師不足地域内）
B群（県内医師不足地域外）
C群　県外

1年目　2年目　3年目　4年目　5年目　6年目　7年目　8年目　9年目　10年目　11年目　（備考）

（1）地域枠（義務年限９年間）

ケース1

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
初期研修	眼科専門研修											
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター		
基幹病院（医師不足地域）	C群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）		
							眼科専門医取得			（義務年限修了）		

ケース1

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
初期研修	眼科専門研修											
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設		
基幹病院（医師不足地域）	C群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	B群（県内医師不足地域外）	B群（県内医師不足地域外）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	B群（県内医師不足地域外）	B群（県内医師不足地域外）		
							眼科専門医取得			（義務年限修了）		

ケース3

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
初期研修	眼科専門研修											
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター		茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	
医師不足地域外	C群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群（県内医師不足地域内）	基幹病院（医師不足地域）		基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群（県内医師不足地域内）	A群（県内医師不足地域内）	A群（県内医師不足地域内）	
							眼科専門医取得			（義務年限修了）		

(2)一般修学生（義務年限６年間）

ケース1

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
初期研修	眼科専門研修											
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター					
基幹病院（医師不足地域）	C群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）					
							眼科専門医取得					
							（義務年限修了）					

ケース2

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
初期研修	眼科専門研修											
	連携施設		連携施設		連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター		
医師不足地域外	C群　県外		C群　県外		A群（県内医師不足地域内）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）		
								眼科専門医取得		（義務年限修了）		

【眼科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群　（県内　医師不足地域内）	今後追加予定
B群　（県内　医師不足地域外）	今後追加予定
C群　（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央総合病院、厚生中央病院

筑波大学附属病院耳鼻咽喉科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

1）各研修病院に経験豊富な指導医・専門医を擁しており、個々に合わせたキャリアを支援します
2）耳鼻咽喉科専門医取得までは、耳鼻咽喉科として必須の能力をバランスよく研修します
3）専門医取得後は、希望に応じて耳科・鼻科・頭頸部外科などのSubspecialtyに応じた研修を行います
4）臨床研修を行いながら大学院進学が可能です
5）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします

初期研修
耳鼻咽喉科専門研修

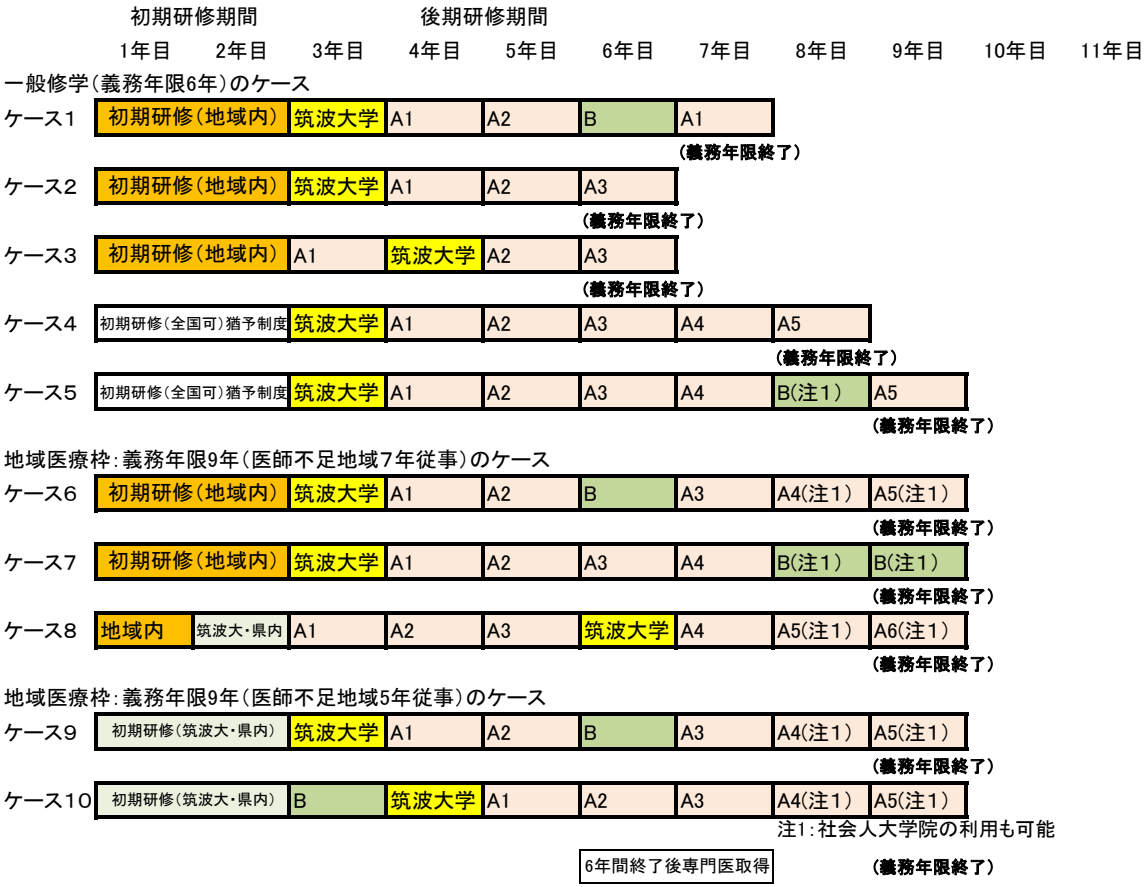
研修例　（一例、個別にアレンジします）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	（備考）
（1）地域枠（義務年限9年間）						専門医試験受験				
ケース1	初期研修（医師不足地域内・外）		筑波大学	A群 水戸協同病院	A群 水戸医療C	A群 県立中央病院	筑波大学	A群 茨城西南医療C	A群 県立中央病院 **（義務年限終了）**	医師不足地域内で初期研修を行った場合は9年目にB群病院の研修も可
ケース2	初期研修（医師不足地域内・外）		A群 県立中央病院	筑波大学	A群 水戸協同病院	A群 水戸協同病院	A群 水戸医療C	A群 茨城西南医療C	筑波大学 **（義務年限終了）**	
（2）一般修学（義務年限6年間）										
ケース1	初期研修（医師不足地域内）		筑波大学 （認定専門研修）	A群 茨城西南医療C	A群 県立中央病院	A群 水戸協同病院 **（義務年限終了）**	B群 筑波学園病院	A群 水戸医療C		
ケース2	初期研修（医師不足地域外）		A群 水戸協同病院	筑波大学 （認定専門研修）	A群 茨城西南医療C	A群 水戸医療C	A群 県立中央病院	B群 筑波学園病院	A群 水戸協同病院 **（義務年限終了）**	

【耳鼻咽喉科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	県立中央病院・水戸医療センター・水戸協同病院・茨城西南医療センター病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波学園病院・筑波記念病院

筑波大学附属病院　腎泌尿器外科　専門医プログラム



基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内中核病院）	日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸済生会病院、茨城県立中央病院、 水戸医療センター、西南医療センター、小山記念病院、龍ヶ崎済生会病院、 つくばセントラル病院　等
B群病院群（医師不足地域外中核病院）	筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院、霞ヶ浦医療センター　等

注2：あくまでも参考例であり、ケースごとに対応可能です。

筑波大学附属病院脳神経外科・脳卒中科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

・医師不足地域内の3次救命救急センターを有している(日立総合病院(日立市)、茨城西南医療センター病院(境町)、水戸医療センター(茨城町))
・日立総合病院、水戸医療センターは脳血管内治療も施行可能であり、水戸医療センターは脳神経血管内治療学会の研修施設にもなっている。
・頭部外傷、脳卒中、神経救急などの一般的な脳神経疾患が豊富。
・医師不足地域にも、例えば小児や脊椎・脊髄、脳血管外科手術などを得意とする施設があり、それぞれの病院の特性を生かした研修が可能。
・経験豊富な指導医からの指導が得られるため、初期から外科治療の経験がつめる。

＜研修例＞ ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
脳神経外科・脳卒中科専門研修
脳神経外科・脳卒中科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限９年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内・外）		B1	筑波大学	A1	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3／A4	A5	大学院非入学型※
ケース2	初期研修（医師不足地域内・外）		B1	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3／A4	A5	大学院非入学型※
												（義務年限終了）※義務年限後に大学院に入学が可能です。	
ケース3	初期研修（医師不足地域内・外）		B1	A1	筑波大学	A2	A3／B2	筑波大学/B2	筑波大学	大学院研究専従（猶予）	B3／A4	A5	大学院入学型
ケース4	初期研修（医師不足地域内・外）		B1	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3／A4	大学院研究専従（猶予）	A5	大学院入学型
													（義務年限終了）	

（2）一般修学（義務年限６年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	A4	B2	以降は連携施設、関連施設、大学、大学院、留学など個々に相談
							（義務年限終了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域内）	A1	B1	筑波大学	A2	A3	A4	筑波大学	以降は連携施設、関連施設、大学、大学院、留学など個々に相談
							（義務年限終了）		

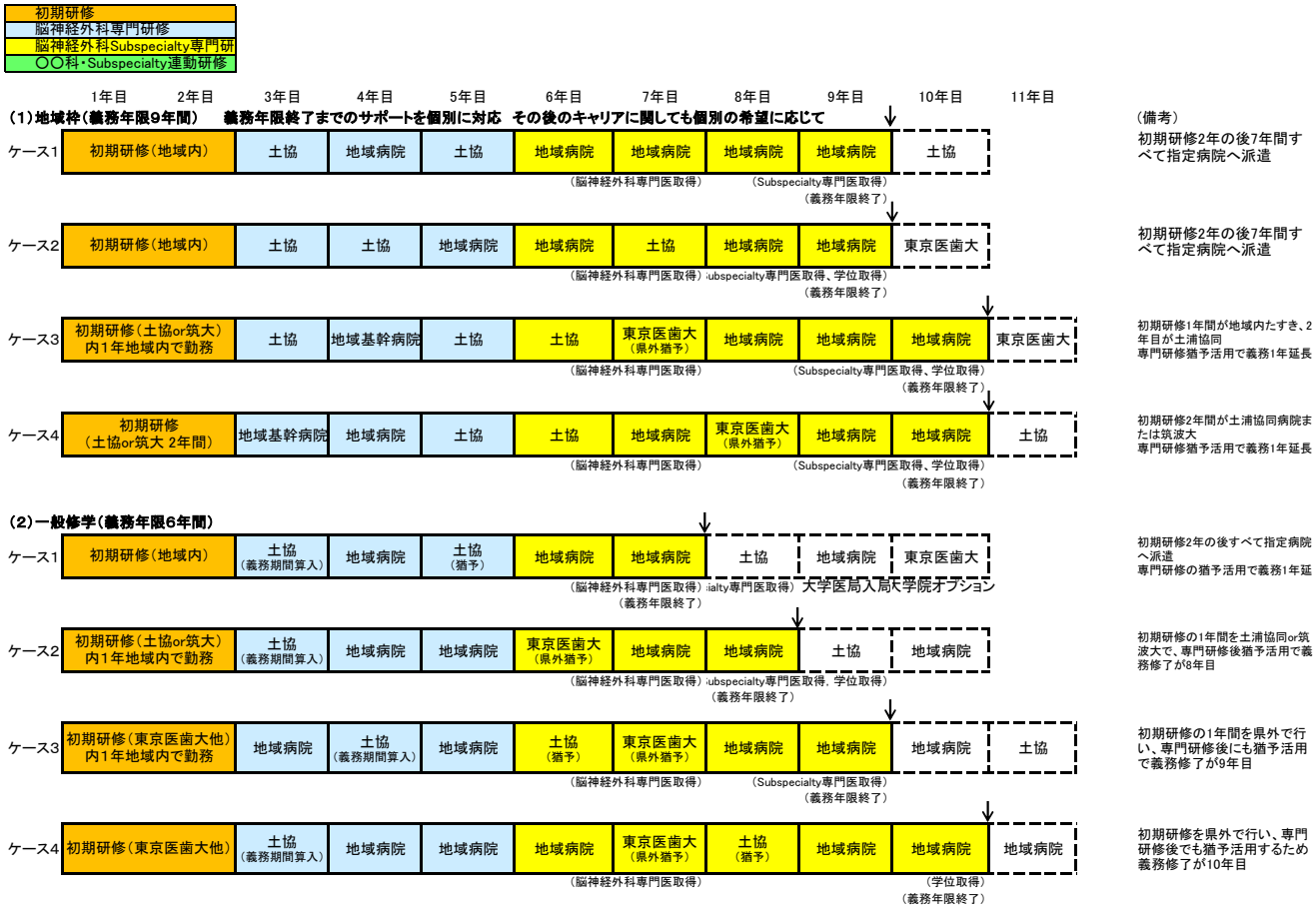
【脳神経外科・脳卒中科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学
A群病院群（医師不足地域内病院）	日立総合病院、水戸済生会総合病院、茨城西南医療センター、水戸協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、茨城県立こども病院、聖麗メモリアル病院、霞見脳神経病院、つくばセントラル病院、茨城県立医療大学
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波記念病院、筑波メディカルセンター病院、県南病院
C群病院群（県外・海外病院）	東京都立小児総合医療センター、小張総合病院、虎ノ門病院、聖隷浜松病院てんかんセンター

土浦協同病院　脳神経外科専門研修プログラム（地域枠、修学生）

特徴
1）東京医科歯科大学と密接な関係をもち、最先端医療を含めた研修が可能
2）経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援している。
3）脳神経外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、長期的視野に立った医師育成を目指している。
4）希望者には東京医科歯科大学の各専門内科領域講座に入局し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能。
5）研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
6）内科専門医取得後、あるいはSubspeciality専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。
7）当施設を含め東京医科歯科大学の関連施設は女性医師の比率が30%以上と多く、女性医師でも安心して勤務できる環境を提供できる。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします



地域病院例はなめがた地域医療センター。今後さらに連携病院を増やしていく予定
地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能
Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定。

【脳神経外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	JAとりで総合医療センター　なめがた地域医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	東京医科歯科大学附属病院　武蔵野赤十字病院　国立災害医療センター　都立小児総合医療センター　東京都保健医療公社豊島病院　新渡戸記念中野総合病院　東京北医療センター　青梅市立総合病院　東京ベイ・浦安市川医療センター　関東労災病院　総合病院国保旭中央病院　自治医科大学付属埼玉医療センター　秀和総合病院　草加市立病院　塩田記念病院　富士吉田市立病院　三島総合病院　翠清会梶川病院　釧路孝仁会病院

筑波大学附属病院　放射線科（サブスペシャリティで治療をめざす場合）

基本コース（**地域枠9年**）　　9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区分	初期研修		基本領域専攻医（放射線科）			サブスペシャリティ専攻医（放射線治療）			一人前	
勤務	医師不足地域		大学	県中	メディカル	大学	県中	ひたちなか	大学	←義務終了

基本コース（**一般修学6年**）　　6年県内かつ医師不足地域（専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可）

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8
区分	初期研修		基本領域専攻医（放射線科）			サブスペシャリティ専攻医（放射線治療）		
勤務	医師不足地域		大学	県中	ひたちなか	県中	←義務終了	

大学院コース（**地域枠9年**）　　9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区分	初期研修		基本領域専攻医（放射線科）			サブスペシャリティ専攻医（放射線治療）			一人前	
勤務	医師不足地域		大学	県中	メディカル	大学	県中	ひたちなか	大学	←義務終了
			大学院博士課程							

大学院コース（**一般修学6年**）　　6年県内かつ医師不足地域（専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可）

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8
区分	初期研修		基本領域専攻医（放射線科）			サブスペシャリティ専攻医（放射線治療）		
勤務	医師不足地域		大学	県中	ひたちなか	県中	←義務終了	
			大学院博士課程					

研修病院	医師不足地域内医療機関（A病院群）	茨城県立中央病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター、日立総合病院
	医師不足地域以外の研修病院（B病院群）	筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院
	県外の研修病院（C病院群）	国がん東、がん研有明、日赤医療センター、都立駒込、国際医療福祉大学成田病院、QST病院

※実際のローテーションは、各専攻医の習熟度や各病院の指導体制により総合的に決定します

それぞれの希望に応じてキャリアデザインをお手伝いします
地域枠等の方で当科研修を希望される場合は、
ぜひ**学生のうち**からご相談ください
（初期研修の施設・内容についても相談に乗ります）

※この表は最短期間で義務を終了する例ですので、
・初期研修を筑波大学附属病院で行いたい
・出産・育児・介護を考えたい
という方にも相談に乗ります

●基本領域専攻医の期間、3ヶ月程度は筑波大学附属病院で放射線診断・IVR科での
　ローテーション研修が必要です。

◇大学院は昼夜開講型（社会人大学院）を推奨
　専攻医（基本領域、サブスペともに）のどの年からでも入学可能です
　研究の進行具合によって、リサーチイヤーとして半年や１年など
　休職する場合は、専門医・サブスペ専門医の取得がその分遅れる場合がありま

筑波大学附属病院放射線診断・IVR科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

後期研修医（S1・S2・C1・C2・CF）の期間で、放射線科専門医と放射線診断専門医が取得できるプログラムである。
後期研修のはじめの3年間は、CT・MRI・US・消化管造影・IVR・小児・核医学・治療などの基礎的知識を学ぶ（丁寧な指導医の支援と専門医取得に必要な豊富な症例）。
放射線専門医取得後は、本人の趣向や将来の専門性によって研修内容・研修先を本人と相談して決定する。

＜研修例＞

初期研修
放射線科専門研修
放射線診断I専門研修

（1）地域枠（義務年限９年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース１	初期研修(医師不足地域内)		B1(CT・MRI・US・治療)	B2（IVR含む）	A1	A2	A3	A4	A5		
						（放射線科専門医取得）		（放射線診断専門医取得）	（義務年限修了）		
ケース２	初期研修（医師不足地域内1年・医師不足地域外1年）		B1(CT・MRI・US・IVR)	C1（小児・治療）	B2	A1	A2	A3	A4	A5	
						（放射線科専門医取得）		（放射線診断専門医取得）		（義務年限修了）	

（2）一般修学（義務年限６年間）

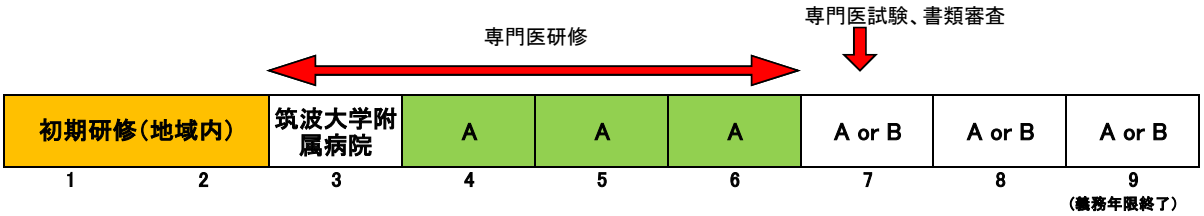
ケース１	初期研修(医師不足地域内)	B1(CT・MRI・US・治療)	A1	A2	A3	C1（小児：半年）	B3	
					（放射線科専門医取得）（義務年限修了）		（放射線診断専門医取得）	
ケース２	初期研修(医師不足地域内)	B1(CT・MRI・US・IVR)	C1（小児・治療）	A1	A2	A3	B2	
					（放射線科専門医取得）	（義務年限修了）	（放射線診断専門医取得）	

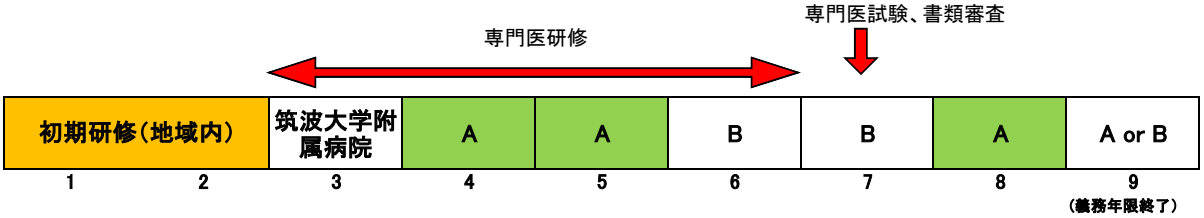
【放射線診断・IVR科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	茨城県立中央病院・日立総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波記念病院、筑波メディカルセンター
C群病院群（県外・海外病院）	埼玉県立小児医療センター・聖路加国際病院

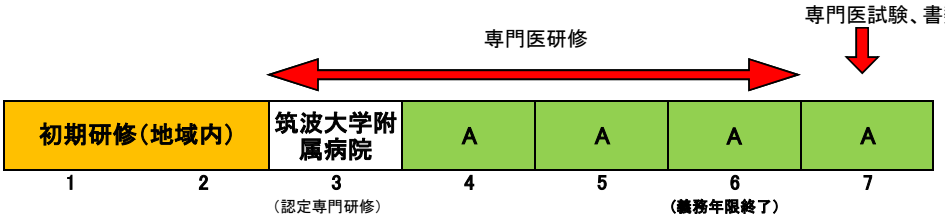
筑波大学附属病院　麻酔科専門医プログラム

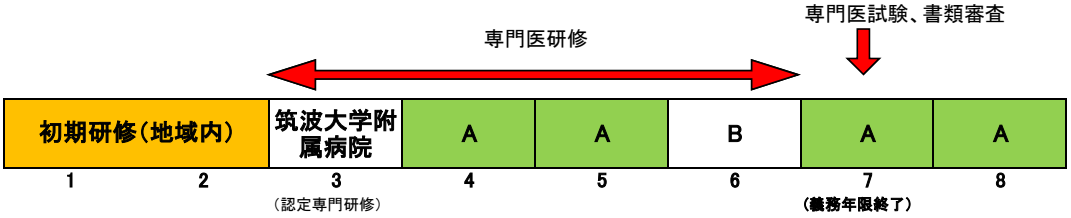
1. 地域枠





2. 一般修学





医師不足地域内医療機関（A）：
日立総合病院、水戸済生会総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院、
茨城県立中央病院、龍ヶ崎済生会病院、JAとりで総合医療センター、つくばセントラル病院、西南医療センター、
神栖済生会病院、県北医療センター＊

医師不足地域外医療機関（B）：
筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、筑波記念病院、筑波学園病院、土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター

3. 注意事項

1）地域枠、一般修学は原則として、初期研修で医師不足地域外の医療機関を選択することはできない。

2）麻酔科専門医プログラムはプログラムで定めた研修施設で4年以上の研修を行うことが義務付けられているので、プログラムで定めた研修施設以外の施設（＊印）への派遣は原則7年目以降とする。

3）専門医プログラム研修期間中に研修を行う医療機関は、プログラムに定められた必要経験症例数を満たすように配慮され決められる。

4）専門医試験は専門研修開始後4年目で受験することが可能。ただしその翌年の書類審査に合格しないと専門医資格は得られない。

東京医科大学茨城医療センター麻酔科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
麻酔科専門研修

基幹病院（医師不足地域）
A群　県外

1年目　2年目　3年目　4年目　5年目　6年目　7年目　8年目　9年目　10年目　11年目　12年目　（備考）

（1）地域枠（義務年限９年間）

ケース1

初期研修	麻酔科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター		
基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）		
					麻酔科専門医取得				（義務年限修了）		

ケース2

初期研修	麻酔科専門研修										
	連携施設	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	
基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	A群　県外	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	
					麻酔科専門医取得					（義務年限修了）	

ケース3

初期研修	麻酔科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター			
医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）			
					麻酔科専門医取得			（義務年限修了）			

(2)一般修学生（義務年限6年間）

ケース1

初期研修	麻酔科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター				
基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）				
					麻酔科専門医取得	（義務年限修了）					

ケース2

初期研修	麻酔科専門研修										
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター				
医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群　県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）				
					麻酔科専門医取得		（義務年限修了）				

【麻酔科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群　（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央総合病院

筑波大学附属病院病理診断科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

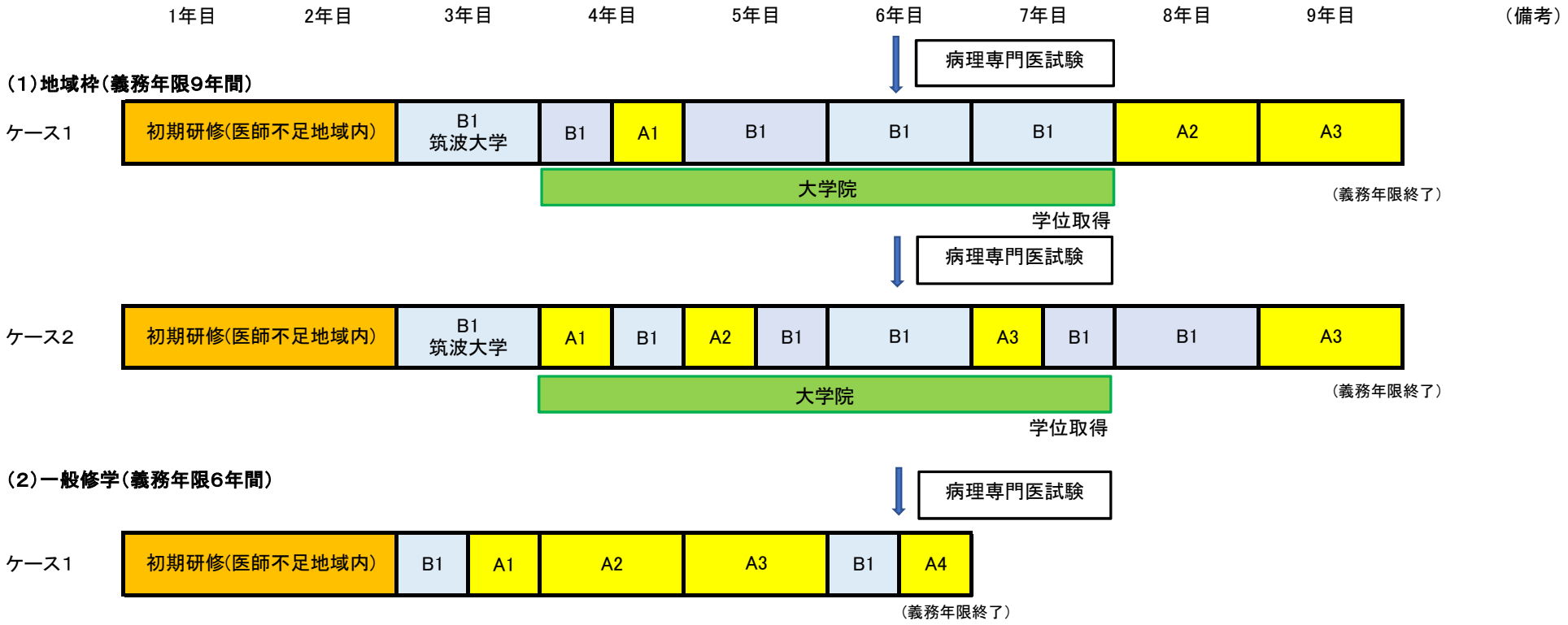
1）筑波大学附属病院研修を柱とし、高度な専門性を伴う病理診断と、併設する「つくばヒト組織診断センター(THDC)」での地域基幹病院のgeneralな病理診断を、並行して経験することができます。

2）プログラム中の大学院進学をサポートし、筑波大学医学医療系診断病理研究室に所属して、実験や論文作成をし、アカデミックキャリア形成を支援します。

3）大学病院での研修では、大学スタッフと、つくばヒト組織診断センター(THDC)に所属する連携施設のベテラン指導医から、臓器別、解剖症例の多様な指導をうけることができます。

4）研修中であっても、出産、育児、介護などの状況にあわせて、研修を設定します。

＜研修例＞ ※あくまで例であって、個別にアレンジします



【病理診断科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	水戸協同病院、県立中央病院、水戸済生会病院、水戸医療センター、日立総合病院 東京医大茨城医療センター　西南医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院　霞ヶ浦医療センター

筑波大学附属病院基幹『茨城県内連携次世代型救急科専門医養成プログラム』：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞

茨城県内の全救命救急センターと、すべての医療圏に及ぶ主要救急医療機関全13箇所と連携し、外傷診療、集中治療、ER診療、災害医療、ドクターヘリ・ドクターカー、MC活動など、救急科専門医として求められるすべてのスキルや知識を経験できるプログラムです。3年間の研修期間の中に3ヶ月間の選択期間を設け、臨床研究・基礎研究・社会研究などの学術研修、茨城県グローバル人材養成プログラム制度を活用した海外派遣なども対応可能です。救急医療で求められるどの領域にも苦手意識なく従事でき、サブスペシャリティ研修としての集中治療専門医、外傷専門医、熱傷専門医などに移行しやすいプログラム構成になっています。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
集中治療科系Subspecialty専門研修
外傷専門医・Subspecialty連動研修
基本領域ダブルボード研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修		救命センター群		地域中核病院群	関連施設群	筑波大学	筑波大学、日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院など			
ケース2	初期研修		地域中核病院群	救命センター群1	救命センター群2	関連施設群	筑波大学	筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院など	水戸医療センター、茨城西南医療センターなど		
ケース3	初期研修		筑波大学	救命センター群	関連施設群	自由選択	地域中核病院群	筑波大学など基本領域専門医プログラム基幹病院	救命センター群		

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修	救命センター群	地域中核病院群	関連施設群	筑波大学	筑波大学、日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院など		
ケース2	初期研修	地域中核病院群	救命センター群1	救命センター群2	関連施設群	筑波大学	筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院など	
ケース3	初期研修	筑波大学	救命センター群	関連施設群	自由選択	地域中核病院群	筑波大学など基本領域専門医プログラム基幹病院	

【救急科専門研修研修病院群】

基幹病院		筑波大学附属病院
救命センター群	A群病院群（医師不足地域内病院）	国立病院機構水戸医療センター、水戸済生会総合病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院
	B群病院群（医師不足地域外病院）	土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院
地域中核病院群	A群病院群（医師不足地域内病院）	茨城県立中央病院、東京医大茨城医療センター、茨城県西部メディカルセンター、牛久愛和総合病院
関連施設群	A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、常陸大宮済生会病院、水戸協同病院
自由選択群	C群病院群（県外・海外病院）	専門医取得上必要な症例を研修する県内外ハイボリュームセンター、県海外グローバル人材派遣事業などの海外研修など

筑波メディカルセンター病院救急科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）　令和6年度(2024年度)専門研修開始予定者用

＜特徴＞
「答えは現場にある！」を実践する救急医育成プログラム
地域医療に貢献できる救急医を育成するプログラム
サブスペシャルティ研修につながるプログラム（例：集中治療専門医、外傷専門医）
医師不足地域内/外での研修を通じて茨城県全体を俯瞰できる救急医を育成するプログラム

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修	
救急科専門研修	
救急科系Subspecialty専門研修	集中治療専門医、外傷専門医
○○科・Subspecialty運動研修	

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
ケース1-1医師不足地域内初期研修から(例)集中治療専門医を目指す	初期研修（医師不足地域内）		筑メ/東医	西南/日立	水戸済生会	筑波大	筑波大	筑波メディカル	筑波メディカル		
	医師不足地域内	医師不足地域内	不足地域外/内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域外	医師不足地域外	医師不足地域外	（義務年限修了）		
ケース1-2医師不足地域外初期研修から(例)集中治療専門医を目指す	初期研修（医師不足地域外）		筑メ/西南	東医茨城	水戸済生会	日立総合	日立総合	筑波メディカル	筑波メディカル		
	医師不足地域外	医師不足地域外	不足地域外/内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域外	（義務年限修了）		
ケース2-1医師不足地域内初期研修から(例)外傷専門医を目指す	初期研修（医師不足地域内）		筑メ/筑大	東医/水戸済	日立総合	西南医療セ	筑波メディカル	筑波メディカル	筑波メディカル	筑波メディカル	
	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域外	不足地域外/内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域外	医師不足地域外	（義務年限修了）		
ケース2-2医師不足地域外初期研修から(例)外傷専門医を目指す	初期研修（医師不足地域外）		日立総合	西南医療セ	水戸済/筑大	東医茨城	東医茨城	東医/筑メ	筑波メディカル	筑波メディカル	
	医師不足地域外	医師不足地域外	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域外	医師不足地域内	医師不足地域内	不足地域内/外	（義務年限修了）		

（2）一般修学（義務年限6年間）

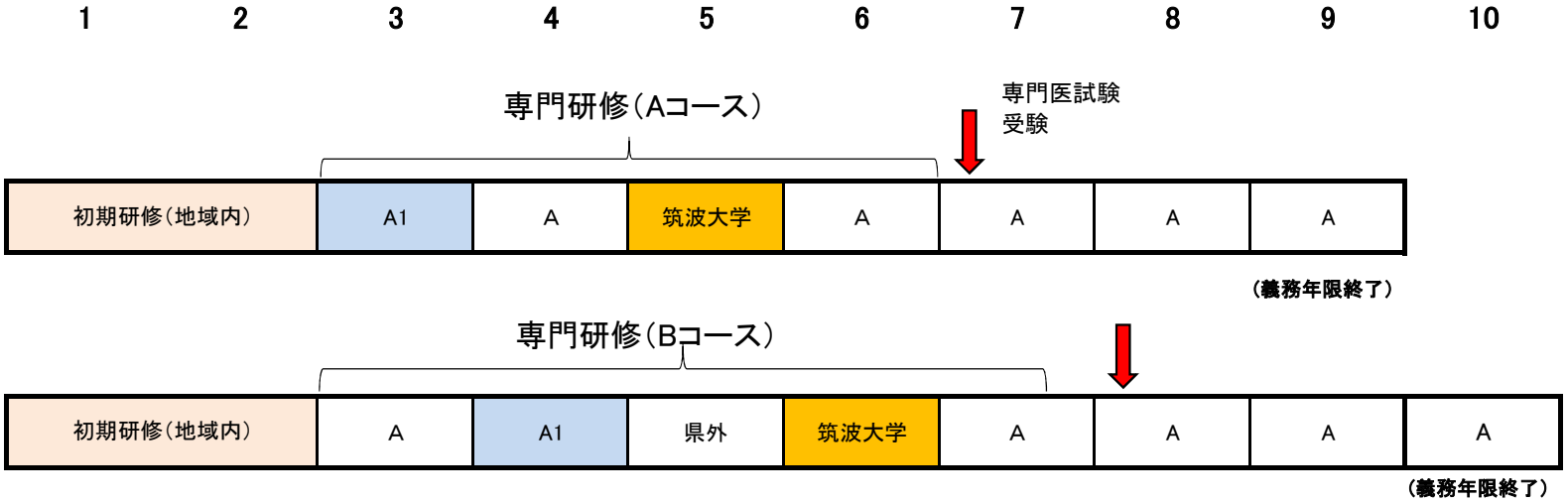
ケース1-1医師不足地域内初期研修から(例)集中治療専門医を目指す	初期研修（医師不足地域内）		筑波メディカル	県中/水戸済生	東医茨城	日立総合	筑波大	筑波メディカル			
	医師不足地域内	医師不足地域内	認定専門研修	医師不足地域内	医師不足地域内	（義務年限修了）					
ケース1-2医師不足地域外初期研修から(例)集中治療専門医を目指す	初期研修（医師不足地域外）		筑波メディカル	西南医療セ	東医茨城	東医茨城	日立総合	日立総合			
	医師不足地域外	医師不足地域外	認定専門研修	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域内	（義務年限修了）			
ケース2-1医師不足地域内初期研修から(例)外傷専門医を目指す	初期研修（医師不足地域内）		筑波メディカル	日立総合	東医茨城	西南医療セ	日本医大	日本医大	筑波メディカル	筑波メディカル	
	医師不足地域内	医師不足地域内	認定専門研修	医師不足地域内	医師不足地域内	（義務年限修了）					
ケース2-2医師不足地域外初期研修から(例)外傷専門医を目指す	初期研修（医師不足地域外）		筑波メディカル	東医茨城	西南医療セ	西南医療セ	日立総合	日立総合	筑波メディカル	筑波メディカル	
	医師不足地域外	医師不足地域外	認定専門研修	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域内	医師不足地域内	（義務年限修了）			

【救急科専門研修研修病院群】		【専門研修連携施設以外の病院】
基幹病院	筑波メディカルセンター病院	
A-1病院群（医師不足地域内3次救命救急センター）	**茨城西南医療センター病院、日立製作所日立総合病院**	
A-2病院群（医師不足地域内2次救急病院）	**東京医科大学茨城医療センター**	
B病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、水戸済生会総合病院、茨城県立中央病院	
C病院群（県外・海外病院）	日本医科大学付属病院	

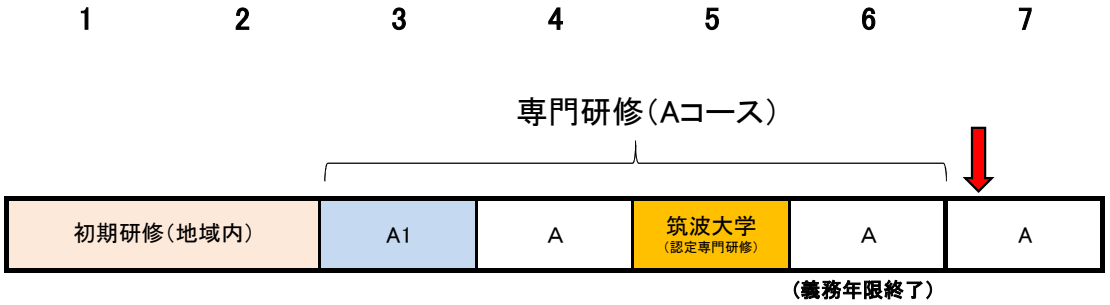
①2024年度より日立総合病院を連携施設へ追加変更申請予定②水戸済生会総合病院がA-1病院群(医師不足地域内3次救命救急センター)からB病院群(医師不足地域外病院)へ移行
③茨城県立中央病院がA-2病院群(医師不足地域内2次救急病院)からB病院群(医師不足地域外病院)へ移行
④水戸済生会総合病院がA-1病院群からB病院群へ移行⑤茨城県立中央病院がA-2病院群からB病院群へ移行

筑波大学附属病院　形成外科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



A病院群	茨城西南医療センター、嶋崎病院、湖南病院、古河病院、木根淵外科胃腸科病院、常陸大宮済生会病院、 県西部メディカルセンター、水戸済生会総合病院，　県立中央病院，水戸医療センター，水戸赤十字病院
B病院群（医師不足地域外病院）	筑波学園病院
筑波大学附属病院	筑波大学附属病院

筑波大学附属病院　リハビリテーション科専門医プログラム

1. 地域枠（9年間）

＜一般モデルケース＞

専門医試験受験

1	2	3	4	5	6	7	8	9
初期研修（地域内）		筑波大学 リハ・脳外・整形・小児・救急など	B1/B2	A2	A1	筑波大学 県医療大	A1/A2	A1/A2

（義務年限終了）

専門医試験受験

1	2	3	4	5	6	7	8	9
初期研修（地域外） （筑波大学or県南地域）		筑波大学 リハ科	A2	A2	A1	A1/A2	A1/A2	A1/A2

（義務年限終了）

＜大学院進学ケース＞

専門医試験受験

1	2	3	4	5	6	7	8	9	(10)	(11)
初期研修（地域内）		筑波大学 リハ・脳外・整形・小児・救急など	A2	A1	県医療大 筑波大学	県医療大 筑波大学	（猶予） 大学院	（猶予） 大学院	A1/A2	A1/A2

（義務年限終了）

大学院入学

2. 一般修学（6年間）

専門医試験受験

1	2	3	4	5	6	7
初期研修（地域内）		筑波大学 リハ・脳外・整形・小児・救急など	A2	A1	A1/A2	

（認定専門研修）　（義務年限終了）

A群病院　医師不足地域内医療機関	A1群：急性期病院	県立中央病院、水戸赤十字病院、牛久愛和病院
	A2群：回復期病院	日立製作所ひたちなか総合病院、志村大宮病院、 茨城県立医療大学、JAとりで医療センター
B群病院　医師不足地域外医療機関	B1群：急性期病院	筑波大学附属病院、土浦協同病院、筑波学園病院
	B2：回復期病院	筑波記念病院

3. 注意事項

・一般修学医師は原則として、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することはできない。
・地域枠医師は、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することも可能。
・専門医試験までに、回復期病棟のある病院（A2もしくは、B2）での研修が1年間必要となる。

筑波記念病院リハビリテーション科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション（リハ）機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
・県外のリハビリテーション専門病院でも研修でき、急性期リハ、回復期リハ病棟における専門的リハビリテーション、療養病床や老健施設、通所リハ、訪問リハの生活期リハビリテーションまで総合的なリハビリテーションを繰り広げている。
・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした専門研修は、高度なリハビリテーション科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目		（医師不足地域） ※一般修学資金においては認定専門研修による筑波記念病院での勤務（1年間）も含む。
	初期研修		リハビリテーション科専門研修								

地域枠（義務年限9年間）

		筑波記念病院リハビリテーション科専門研修プログラム（3年間）								
ケース1	初期研修（医師不足地域外1年・医師不足地域内1年）	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	A2	A3	A4	B2	4.5年間＝初期1年間＋専門1年間＋6年目以降2.5年間
				（リハ科専門医取得）				（義務年限修了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域外2年）	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	A1	A2	A3	A4	B2	4.5年間＝専門1年間＋6年目以降3.5年間
				（リハ科専門医取得）				（義務年限修了）		
ケース3	初期研修（医師不足地域内2年）	筑波記念病院	B1、筑波記念病院	A1	筑波記念病院	筑波記念病院	A2	A3	B2	4.5年間＝初期2年間＋専門研修1年間＋6年目以降1.5年間
				（リハ科専門医取得）				（義務年限修了）		

一般修学（義務年限6年間）

		筑波記念病院リハビリテーション科専門研修プログラム（3年間）						
ケース1	初期研修（医師不足地域外1年・医師不足地域内1年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3	A4		6年間＝初期研修1年間＋専門研修3年間＋6年目以降2年間
				（リハ科専門医取得）		（義務年限修了）		
ケース2	初期研修（医師不足地域外2年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A2	A3	A4	6年間＝専門研修3年間＋6年目以降3年間
				（リハ科専門医取得）			（義務年限修了）	
ケース3	初期研修（医師不足地域内2年）	筑波記念病院（義務期間算入）	A1	A2	A3			6年間＝初期研修2年間＋専門研修3年間＋6年目以降1年間
				（リハ科専門医取得）	（義務年限修了）			

【リハビリテーション科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	水戸赤十字病院、ひたちなか総合病院、志村大宮病院、有田内科整形リハビリクリニック
B群病院群（医師不足地域外病院）	霞ヶ浦リハビリテーション整形外科クリニック
C群病院群（県外・海外病院）	帝京大学医学部附属病院、初台リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院、戸田中央リハビリテーション病院

筑波大学附属病院　総合診療専門研修プログラム

＜特徴＞

・どこで研修していてもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
・大学院博士課程で研究（研究専従期間は義務猶予となります）をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

- 初期研修
- 総合診療専門研修Ⅰ
- 総合診療専門研修Ⅱ
- 必修領域別研修（内科、小児科、救急）と大学総診
- 選択領域別研修（緩和、整形、産婦、リハ等）

総合診療専門研修プログラム

1年目　2年目　3年目　4年目　5年目　6年目　7年目　8年目　9年目　10年目　（備考）

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（地域内）		筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所小病院	小児 / 選択	病院内科	診療所・小病院	選択	診療所・小病院	診療所・小病院	家庭医療に重点を置いたコース
			B	B	A	A	B / B	A	A	A or B	A or B	A or B	
ケース2	初期研修（地域内）		筑波メディカル	筑波大学	診療所等	水戸協同	選択 / 小児	病院内科	診療所・小病院	水戸協同	選択	病院総合診療科	病院総合診療に重点を置いたコース
			B	B	A	A	B / B	A	A or B	A	A or B	A or B	
ケース3	初期研修（地域内）		筑波メディカル	筑波大学	水戸協同	診療所小病院	病院内科	小児 / 緩和	緩和医療に強い診療所	選択	非がん緩和医療に強い病院・診療所	非がん緩和医療に強い病院・診療所	緩和医療に重点を置いたコース
			B	B	A	A	A	B / B	A	A or B	A or B	A or B	
ケース4	初期研修（地域内）		筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所小病院	小児 / 選択	病院内科	診療所・小病院	筑波大学*1	産休・育休	筑波大学*1	診療所・小病院	診療所・小病院	出産・育児とのバランスに重点を置いたコース *1：女性医師支援制度を利用した週30～32時間勤務
			B	B	A	A	B / B	A	A	B		B	A or B	A or B	
ケース5	初期研修（地域内）		筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所小病院	小児 / 選択	病院内科	診療所・小病院	大学院専従（猶予）	診療所・小病院	診療所・小病院	診療所・小病院	学位と専門医を取得するコース
			B	B	A	A	B / B	A	B		B	A	A or B	

ケース1：
- 6年目：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）
- 9年目：（義務年限終了）

ケース3：
- 6年目：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）
- 9年目：（緩和医療専門医取得）（義務年限終了）

ケース4：
- 6年目：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）
- 10年目：（義務年限終了）

ケース5：
- 3年目：（大学院　入学）
- 7年目：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）
- 9年目：（大学院卒業）
- 10年目：（義務年限終了）

（2）一般修学（義務年限6年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（地域内）		筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所小病院	病院内科	選択 / 小児	診療所・小病院	病院・診療所			地域枠同様、専攻医の希望に応じたアレンジができます
			B	B	A	A	A	A / A	A	A			

（認定専門研修）

- 7年目：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）
- 8年目：（義務年限終了）

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群（医師不足地域内病院）	総合診療専門研修Ⅰ施設： 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、 笠間市立病院、大和クリニック、利根町国保診療所	総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設： 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、 茨城西南医療センター、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群（医師不足地域外病院）		石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群（県外・海外病院）	希望がある場合は適宜相談（義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる）	

筑波大学附属病院　総合診療専門研修プログラム

＜特徴＞

・どこで研修していてもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
・大学院博士課程で研究（研究専従期間は義務猶予となります）をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

- 初期研修
- 総合診療専門研修Ⅰ
- 総合診療専門研修Ⅱ
- 必修領域別研修（内科、小児科、救急）と大学総診
- 選択領域別研修（緩和、整形、産婦、リハ等）

（総合診療専門研修プログラム）

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	（備考）
ケース1	初期研修（地域外）		筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 A	診療所・小病院 A	小児 B / 選択 B / 病院内科 A	診療所・小病院 A	選択 A or B	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	家庭医療に重点を置いたコース
ケース2	初期研修（地域外）		筑波メディカル B	筑波大学 B	診療所等 A	水戸協同 A	選択 B / 小児 B / 病院内科 A	診療所・小病院 A	水戸協同 A	選択 A or B	病院総合診療科 A	病院総合診療に重点を置いたコース
ケース3	初期研修（地域外）		筑波メディカル B	筑波大学 B	水戸協同 A	診療所・小病院 A	病院内科 A / 小児 B / 緩和 B	緩和医療に強い診療所 A	選択 A or B	非がん緩和医療に強い病院・診療所 A	非がん緩和医療に強い病院・診療所 A	緩和医療に重点を置いたコース
ケース4	初期研修（地域外）		筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 A	診療所・小病院 A	小児 B / 選択 B / 病院内科 A	診療所・小病院 A	筑波大学*1 B / 産休・育休	筑波大学*1 B	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	出産・育児とのバランスに重点を置いたコース *1：女性医師支援制度を利用した週30～32時間勤務
ケース5	初期研修（地域外）		筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 A	診療所・小病院 A	小児 B / 選択 B / 病院内科 A	診療所・小病院 B	大学院専従（猶予）	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	診療所・小病院 A	学位と専門医を取得するコース

ケース1：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）　（義務年限終了）
ケース2：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）　（義務年限終了）
ケース3：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）　（緩和医療専門医取得）（義務年限終了）
ケース4：（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）　（義務年限終了）
ケース5：（大学院　入学）　（総合診療専門医・家庭医療専門医取得）　（大学院卒業）　（義務年限終了）

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群（医師不足地域内病院）	総合診療専門研修Ⅰ施設： 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、 笠間市立病院、大和クリニック、利根町国保診療所	総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設： 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、 茨城西南医療センター、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群（医師不足地域外病院）		石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群（県外・海外病院）	希望がある場合は適宜相談（義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる）	

北茨城市民病院総合診療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
保健・医療・介護の連携に向けて、包括的に医師の立場から健康にかかわる問題についての助言、臓器別の領域を超えた標準的な医療の提供ができる総合診療専門医を養成します。
附属の診療所である家庭医療センターで、総合診療専門研修Ⅰを研修できるため、密な連携が取れます。
院外研修として、学校医や北茨城コミュニティケア研究会などに参画し、地域医療の重要性を現場から吸収できる環境を整えています。

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
総合診療科専門研修
総合診療科系Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目		5年目			6年目	7年目	8年目	9年目	（備考）
ケース1	初期研修（医師不足地域内・外）		市民病院	A1	*A	A1	A4	A5（家庭医療）	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院（総合診療科）※　修学資金貸与者及び県との相談による。				内科研修をA群で実施したケース。
				内科	内科	救急科	小児科		（総合診療科専門医取得）			**（義務年限終了）**	

*Aについては、専攻医の希望により連携施設から内科、整形外科、精神科、皮膚科を選択可能

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修（医師不足地域内）	市民病院	A1	*A	A1	A4	A5（家庭医療）	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院（総合診療科）※　修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修をA群で実施したケース。
			内科	内科	救急科	小児科		（総合診療科専門医取得）**（義務年限終了）**		

*Aについては、専攻医の希望により連携施設から内科、整形外科、精神科、皮膚科を選択可能

【総合診療科専門研修研修病院群】

基幹病院	北茨城市民病院
A群病院群（医師不足地域内病院）	茨城県立中央病院、日立総合病院、茨城県立こころの医療センター、茨城県立こども病院、北茨城市民病院附属家庭医療センター
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、筑波大学（臨床疫学）
C群病院群（県外・海外病院）	－

東京医科大学茨城医療センター総合診療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

＜特徴＞
・基本領域(一段階目の専門医)は、総合診療と内科の両方で研修できます。ダブルボード(総合診療と内科両方の専門医)取得も可能！
・総合診療のサブスペシャルティ(二段階目の専門医)は、病院総合診療と新家庭医療の両方を研修できます！
・病院総合診療医プログラムは、県内唯一の大規模プログラムで様々な規模の病院で活躍できる、病院総合診療医になることができます。
・新家庭医医療プログラムでは、将来開業や訪問診療を目指す家庭医療のプロフェッショナルになることができます。
・内科専門研修プログラム後は、内科系サブスペシャルティ研修も可能です。
・医学博士も取得可能！臨床研究も盛んであり、研修修了時に医学博士も取得できます。
・全国総合診療・家庭医有名病院での研修も可！猶予期間を使用することで、有名病院で研修し、臨床能力に磨きをかけられます！

＜研修例＞　※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
総合診療専門研修／内科専門研修
総合診療系・内科Subspecialty専門研修

（1）地域枠（義務年限9年間）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	（備考）
ケース1-1	初期研修（医師不足地域内・外共に）		東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/C1	茨城医療センター	A1	東京医科大学茨城医療センター（総合診療専門医取得）	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/A2	病院総合診療医コース 注：C群選択時は10年
ケース1-2	初期研修（医師不足地域内・外共に）		東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/C1	茨城医療センター	A1	A2（総合診療専門医取得）	A2	東京医科大学茨城医療センター/A2	新・家庭医療専門医コース 注：C群選択時は10年
ケース1-3	初期研修（医師不足地域内・外共に）		東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/C1	茨城医療センター	A1	A2（総合診療専門医取得）	東京医科大学茨城医療センター/A3（総合内科専門医取得）	東京医科大学茨城医療センター/A3	内科・総合診療ダブルボードコース 注：C群選択時は10年
									東京医科大学茨城医療センター/A4（義務年限修了）	

（2）一般修学（義務年限6年間）

ケース1-1	初期研修（医師不足地域内・外共に）	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/C1	茨城医療センター	A1	東京医科大学茨城医療センター（総合診療専門医取得）（義務年限修了（初期医師不足地域内時））	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター（義務年限修了（初期医師不足地域外時）	病院総合診療医コース 注：C群選択時は1年延長
ケース1-2	初期研修（医師不足地域内・外共に）	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/C1	茨城医療センター	A1	A2（総合診療専門医取得）（義務年限修了（初期医師不足地域内時））	A2	A2（義務年限修了（初期医師不足地域外時）	新・家庭医療専門医コース 注：C群選択時は1年延長
ケース1-3	初期研修（医師不足地域内・外共に）	東京医科大学茨城医療センター	東京医科大学茨城医療センター/C1	茨城医療センター	A1	A2（総合診療専門医取得）（義務年限修了（初期医師不足地域内時））	東京医科大学茨城医療センター/A3（総合内科専門医取得）	東京医科大学茨城医療センター/A3（義務年限修了（初期医師不足地域外時）	内科・総合診療ダブルボードコース 注：C群選択時は1年延長

【総合診療科専門研修研修病院群】

基幹病院	東京医科大学茨城医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	北茨城市民病院附属家庭医療センター、笠間市立病院、セントラル総合クリニック、神栖済生会病院 専攻医の希望に応じて適宜追加可
B群病院群（医師不足地域外病院）	専攻医の希望に応じて適宜追加可
C群病院群（県外・海外病院）	豊田地域医療センター、桜新町アーバンクリニック、同善会クリニック、同善病院、太田西之内病院、聖マリア病院、飯塚病院、東京医科大学病院 専攻医の希望に応じて適宜追加可